

資料編

- 1 策定の経過
- 2 朝霞市子ども・子育て会議条例
- 3 朝霞市子ども・子育て会議委員名簿
- 4 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ※
- 5 こどもの生活に関するアンケート調査 ※
- 6 ヒアリング調査
- 7 参考とした調査
 - ①朝霞市こどもの日常生活に関するアンケート調査(ヤングケアラー実態調査)での調査結果
 - ②あさか次世代エール支援金で寄せられた意見
 - ③ひとり親家庭等アンケート調査結果
- 8 その他参考
 - ①児童館利用状況
 - ②こども食堂・フードパントリーの状況(令和6年11月末日現在)
 - ③冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)、移動式プレーパークの状況
- 9 用語集

※市ホームページに各調査報告書を掲載しています。本計画書には、各調査報告書を一部抜粋して掲載しています。

1 策定の経過

開催日	会議等	議題
令和5年7月6日 (木曜日)	子ども・子育て会議 (第1回)	①会長及び副会長の選出について ②こども基本法の概要について ③子ども・子育て会議及び部会の運営について ④第3期朝霞市・子ども・子育て支援事業計画の策定について
令和5年7月20日 (木曜日)	子ども・子育て支援事業 計画部会(第1回)	①自己紹介 ②部会長選出 ③計画策定部会の狙いと流れ ④朝霞市の現状把握 (グループ討議)
令和5年8月31日 (木曜日)	子ども・子育て会議 (第2回)	①第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について ②第1回朝霞市子ども・子育て支援事業計画部会の報告について ③その他
令和5年10月24日 (火曜日)	子ども・子育て支援事業 計画部会(第2回)	①第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート及びヒアリング の実施について ②第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート 及びヒアリングの調査票(案)について ③その他
令和5年11月28日 (火曜日)	子ども・子育て会議 (第3回)	①第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート及びヒアリング の実施について ②第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート 及びヒアリングの調査票(案)、封筒(案)について ③公立保育園の給食費の対応 について
令和6年2月13日 (火曜日)	子ども・子育て会議 (第4回)	①子ども・子育て支援事業計画(令和4年度分)の評価について ②その他
令和6年3月25日 (月曜日)	子ども・子育て会議 (第5回)	①子ども・子育て支援事業計画令和4年度実施事業進捗状況報告書(案)について ②その他
令和6年5月31日 (金曜日)	子ども・子育て会議 (第1回)	①第3期朝霞市子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート及びヒアリング の調査結果・分析について ②今後の計画策定のスケジュールについて ③その他
令和6年7月9日 (火曜日)	子ども・子育て支援事業 計画部会(第1回)	①こども計画への変更について ②朝霞市のこどもを取り巻く現状について ③こども 計画骨子案について(グループ討議) ④子ども・子育て支援事業計画骨子案につ いて ⑤その他
令和6年7月19日 (金曜日)	子ども・子育て会議 (第2回)	①第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について ②第1回朝霞市子ども・子育て支援事業計画部会の報告及び骨子案について ③骨子案の基本理念に ついて ④その他
令和6年10月22日 (火曜日)	子ども・子育て支援事業 計画部会(第2回)	①こども計画の素案について ②その他
令和6年11月12日 (火曜日)	子ども・子育て会議 (第3回)	①子ども・子育て支援事業計画(令和5年度分)の評価について ②こども計画素案 について ③その他
令和7年2月14日 (金曜日)	子ども・子育て会議 (第4回)	①朝霞市子ども・子育て支援事業計画 令和5年度実施事業進捗状況報告書(案)に ついて ②朝霞市こども計画(案)について ③その他

2 朝霞市子ども・子育て会議条例

平成25年9月27日 条例第51号
改正 平成26年3月31日 条例第5号
平成29年12月20日 条例第21号
平成30年9月28日 条例第20号
令和5年3月27日 条例第3号

(目的)

第1条 この条例は、朝霞市子ども・子育て会議の設置、組織及び運営に関する事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「法」という。)第72条第1項の規定に基づき、市の子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、朝霞市子ども・子育て会議(以下「子ども・子育て会議」という。)を置く。

(所掌事務)

第3条 子ども・子育て会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 法第72条第1項各号に規定する事務を処理すること。
- (2) 子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を調査審議すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

(組織)

第4条 子ども・子育て会議は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 知識経験を有する者
- (2) 法第6条第2項に規定する保護者
- (3) 法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (4) 公募による市民又は公募委員候補者名簿に登載された市民
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 子ども・子育て会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

(部会)

第8条 会長は、必要があると認めるときは、会議に諮って部会を置くことができる。

2 部会に属する委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、会長が指名する委員をもってこれに充てる。

4 部会長は、部会の事務を総理する。

5 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名する委員がその職務を代理する。

(庶務)

第9条 子ども・子育て会議の庶務は、こども・健康部こども未来課及びこども・健康部保育課において処理する。

(雑則)

第10条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年朝霞市条例第2号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成26年条例第5号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成29年12月20日条例第21号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日条例第20号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(令和5年3月27日条例第3号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

3 朝霞市子ども・子育て会議委員名簿

任期:令和5年7月6日～令和7年3月31日

区分	選出団体等	氏名	備考
1号 知識経験を有する者	1 学校法人東洋大学	嶋崎 博嗣	会長
	2 十文字学園女子大学	鈴木 晴子	副会長
	3 公益財団法人21世紀職業財団	山谷 真名	
	4 朝霞市小中学校校長会	小林 美加	
2号 保護者	5 公営保育園保護者	新井 智美(令和5年度) 宮内 郁恵(令和6年度)	
	6 民営保育園保護者	田島 由華	
	7 幼稚園保護者	鈴木 厚子(令和5年度) 齋藤 文美(令和6年度)	
	8 朝霞市保護者代表連絡会	菅原 慎也(令和5年度) 吉山 隼人(令和6年度)	
	9 朝霞市放課後児童クラブ連絡協議会	坂本 彩香(令和5年度) 矢田 歩(令和6年度)	
3号 子ども・子育て支援に関する 事業に従事するもの	10 朝霞市社会福祉法人民間保育園連絡協議会	金子 雅美	
	11 東上地区私立幼稚園協会朝霞支部	佐藤 順興	
	12 朝霞市社会福祉協議会	川合 義和	
	13 朝霞地区福祉みつばすみれ学園	岡部 利枝	
4号 公募による市民	14 公募市民	神部 陽一	
	15 公募市民	獅子倉 賢治	
5号 その他	16 朝霞市議会議員	本田 麻希子(～令和5年12月17日) 西 明(令和6年2月13日～)	
	17 朝霞市民生委員・児童委員協議会	宮永 純子	
	18 連合埼玉朝霞・東入間地域協議会	藤田 勇	
	19 NPO法人なかよしねっと	安孫子 陽子	
	20 子ども会連合会	渡邊 俊夫	
	21 朝霞市青少年育成市民会議会	金子 和人	
	22 朝霞市地区里親会	江川 千佳子	
	23 あさか子育てネットワーク	喜多 陽子	
	24 こどもの居場所ネット	吉村 智代	
	25 児童館利用団体	鶴田 美樹	

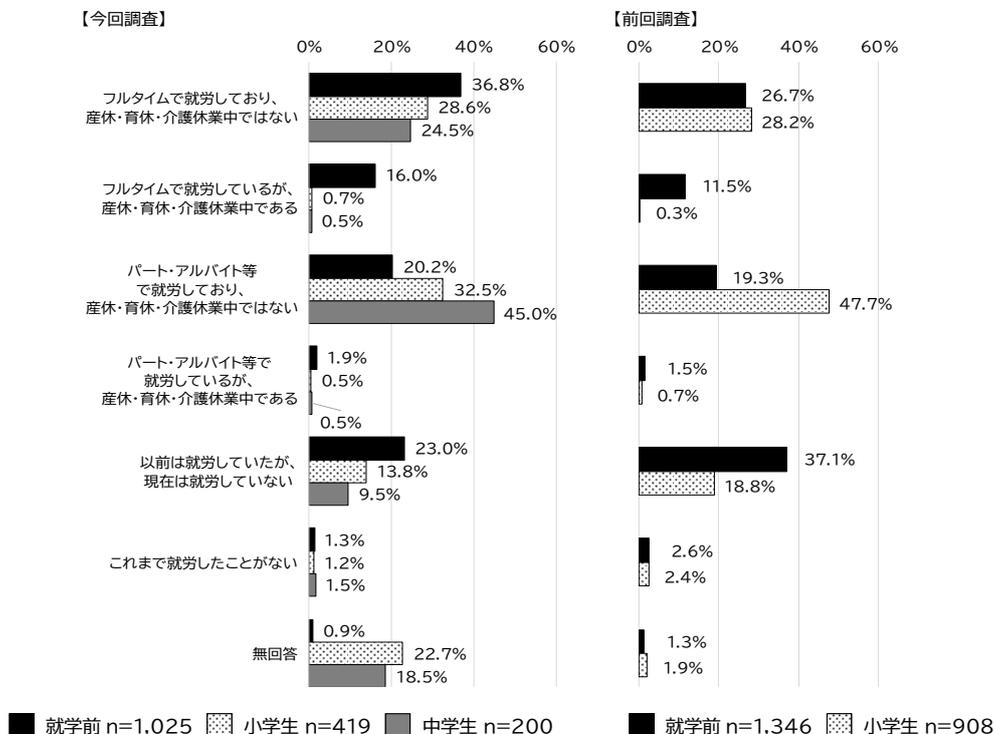
(順不同、敬称略)

4 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

【就学前児童・小学生】

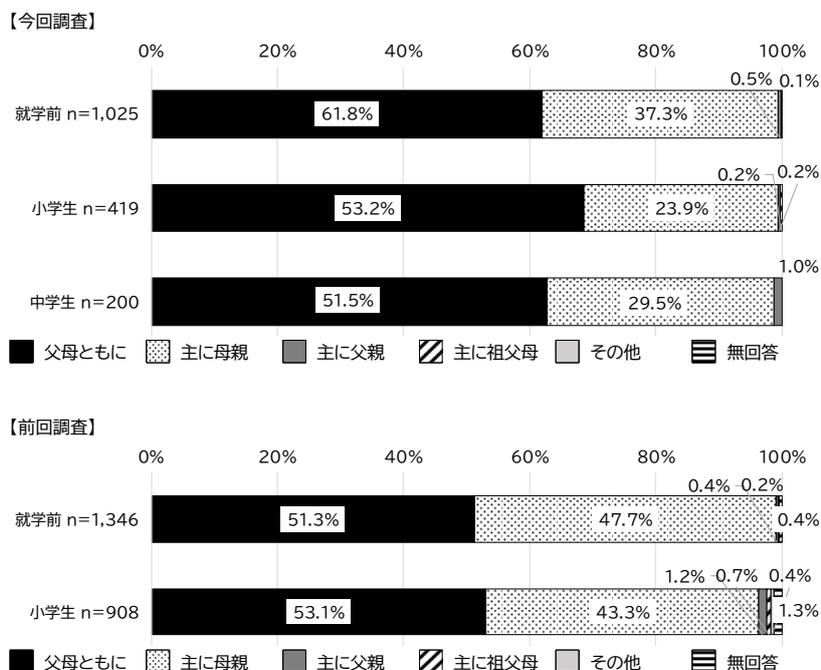
1. 保護者の就労状況

【ニーズ調査①:母親の就労状況】



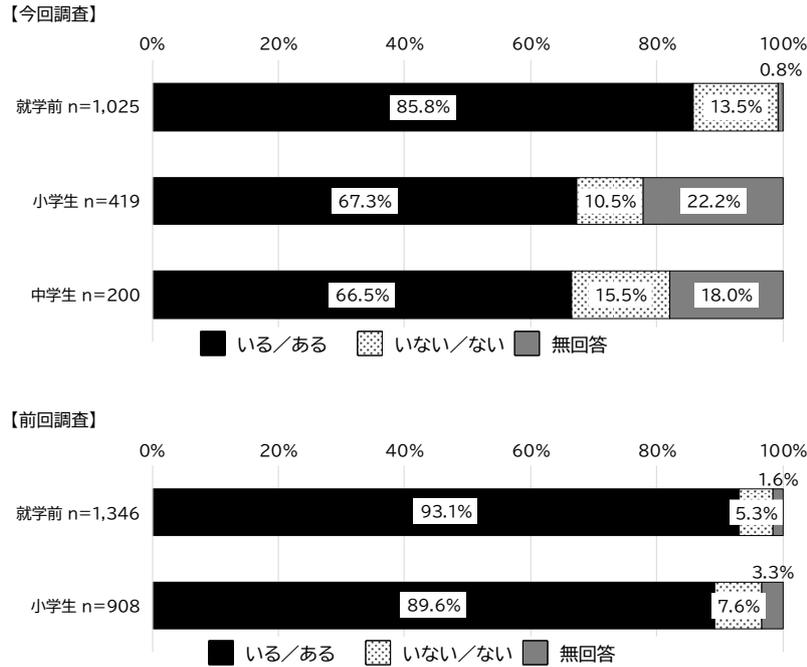
2. 子育てへの関わり方

【ニーズ調査②:子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人・施設】

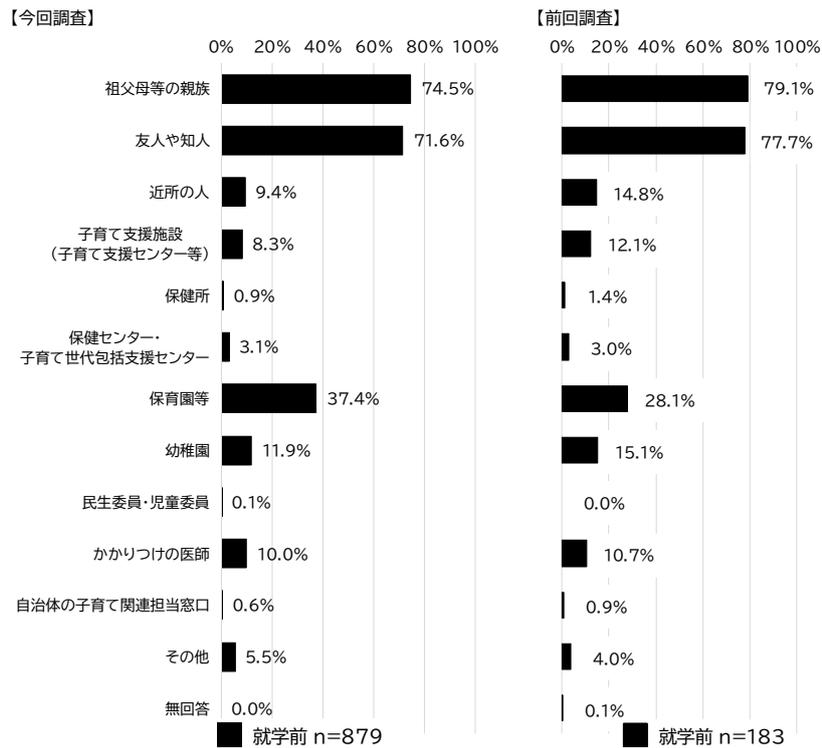


※前回調査では、中学生保護者はなし

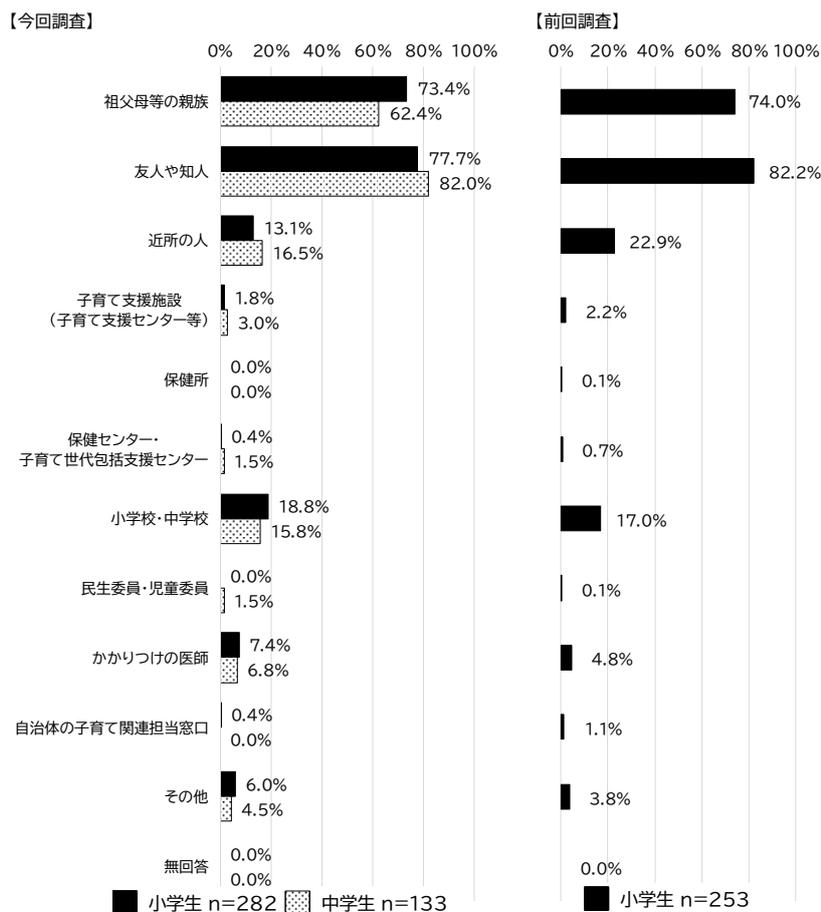
【ニーズ調査③:子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無】



【ニーズ調査④:相談できる人・場所(未就学児保護者)】(複数回答有)

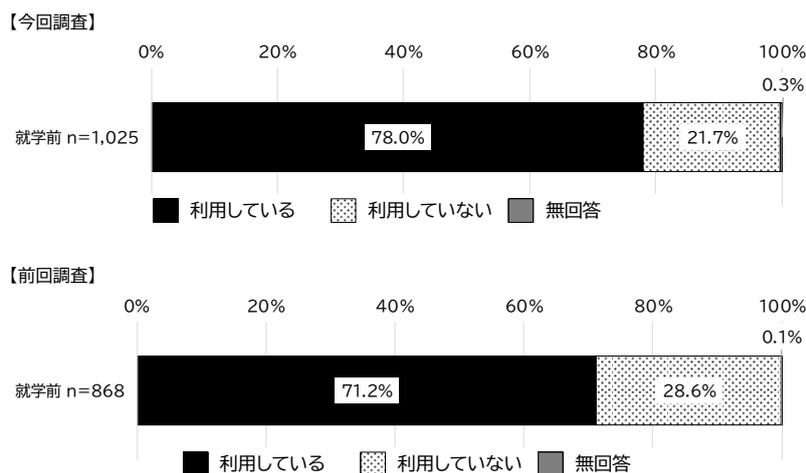


【ニーズ調査⑤:相談できる人・場所(小・中学生保護者)】(複数回答有)

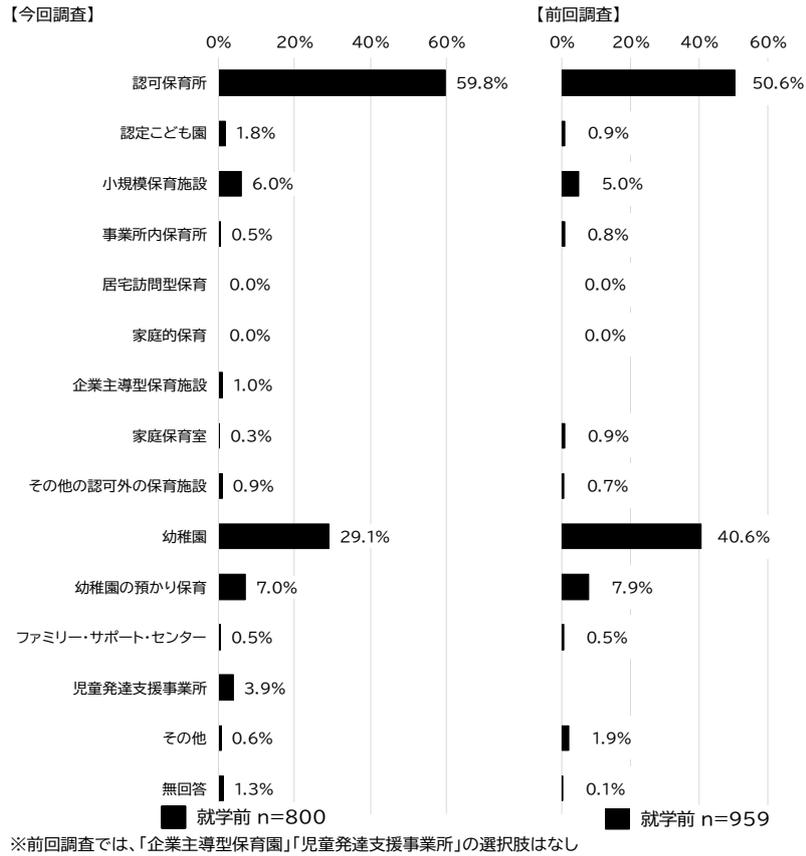


3. 教育・保育事業の利用状況と希望

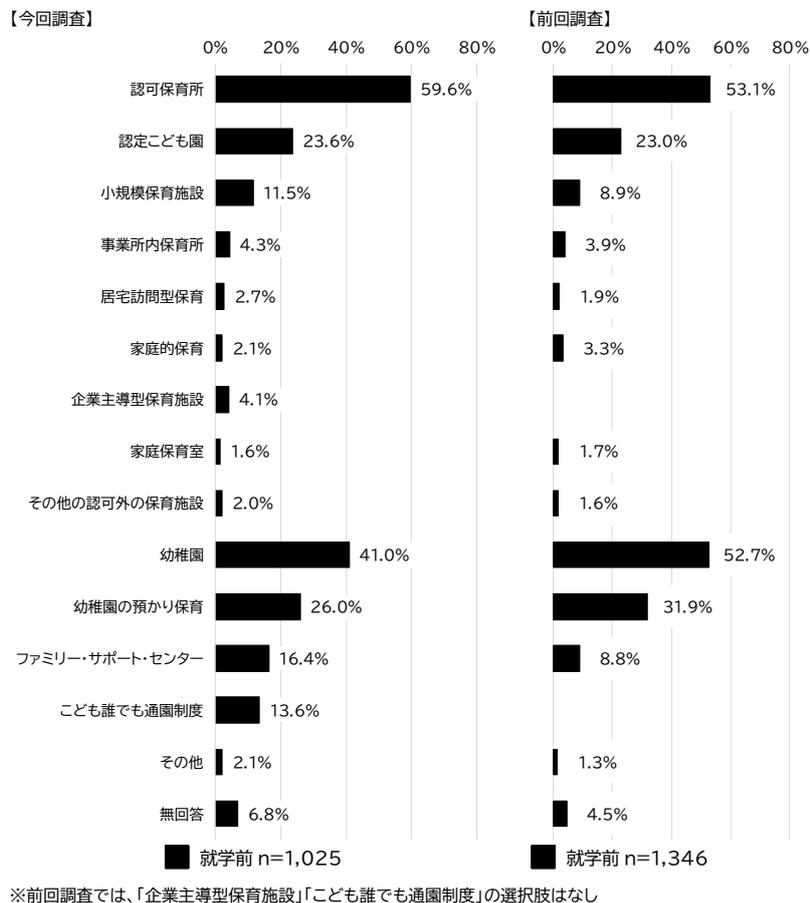
【ニーズ調査⑥:定期的に利用している事業の有無】



【ニーズ調査⑦:定期的にご利用している事業】(複数回答有)



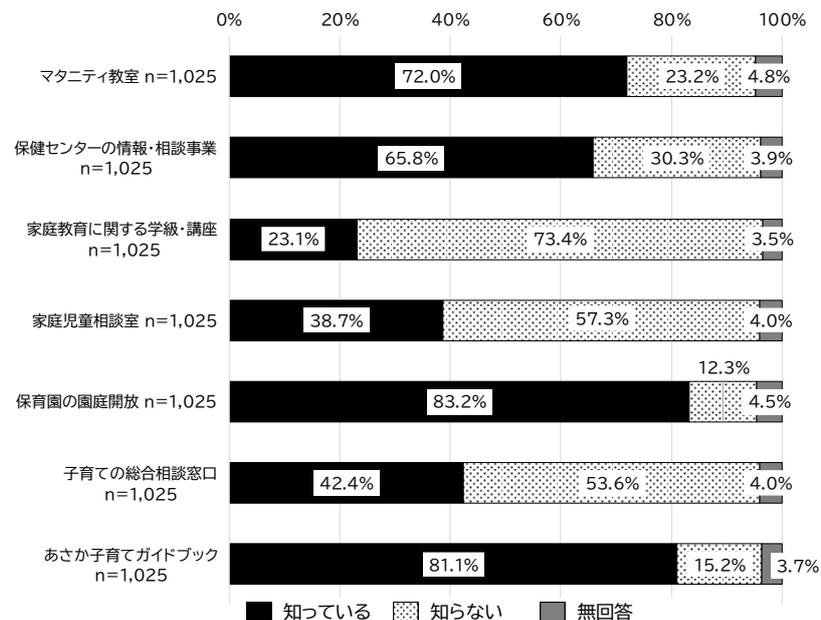
【ニーズ調査⑧:利用を希望している定期的な教育・保育事業】(複数回答有)



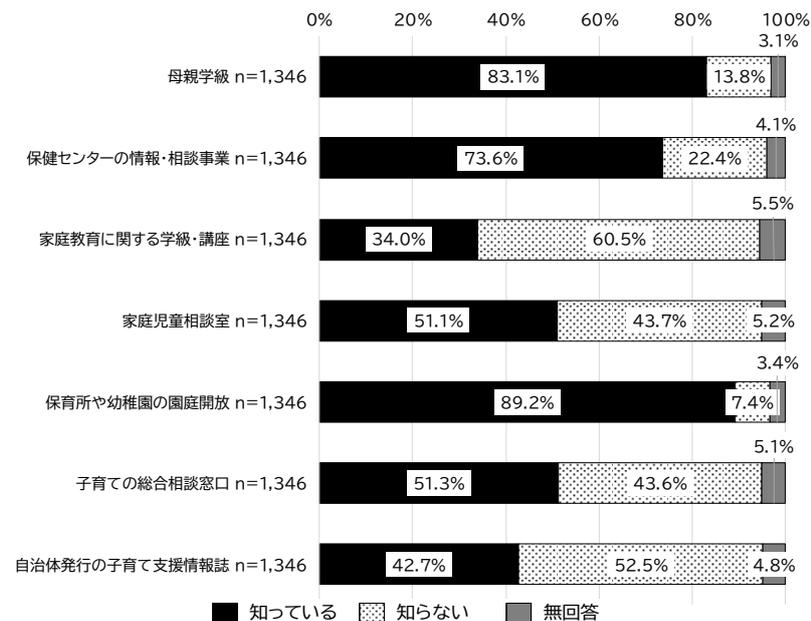
4. 子ども・子育て支援事業の利用状況と希望

【ニーズ調査⑨:各種支援事業の認知状況】

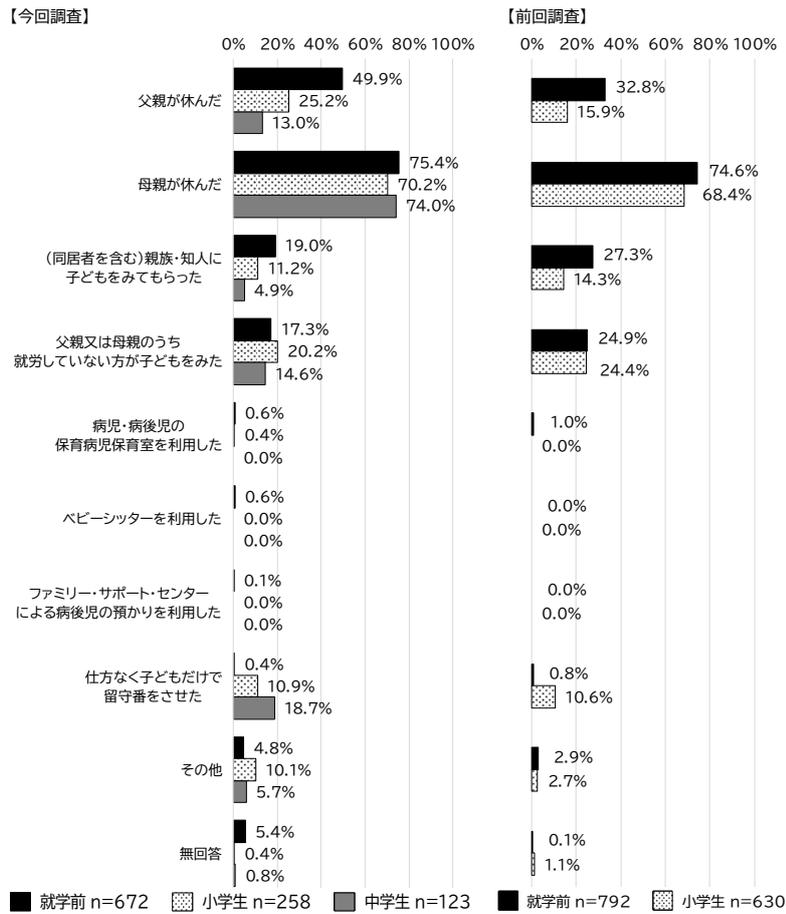
【今回調査】



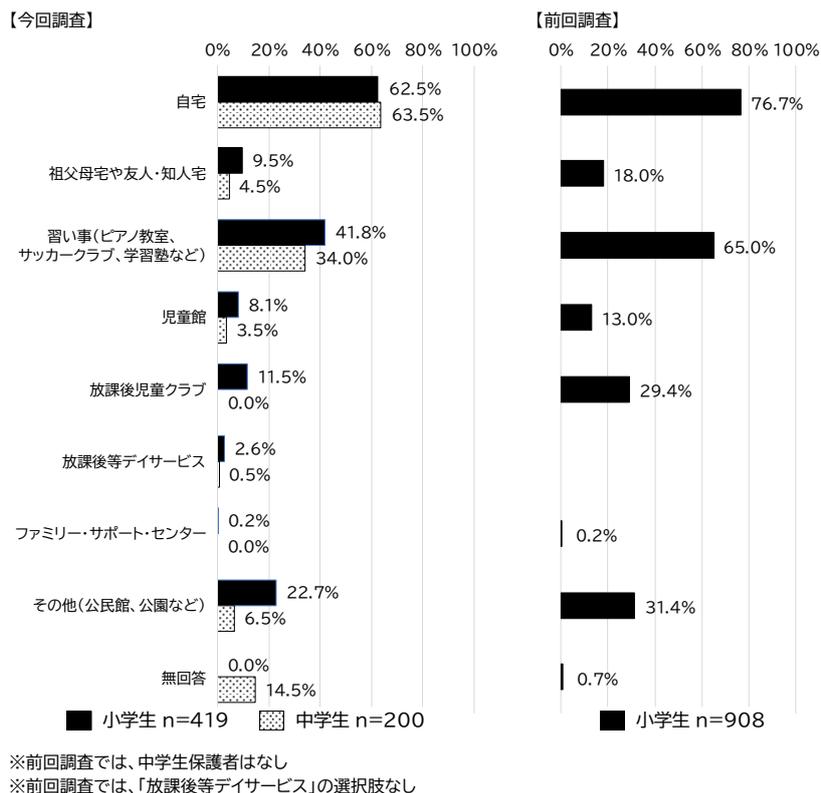
【前回調査】



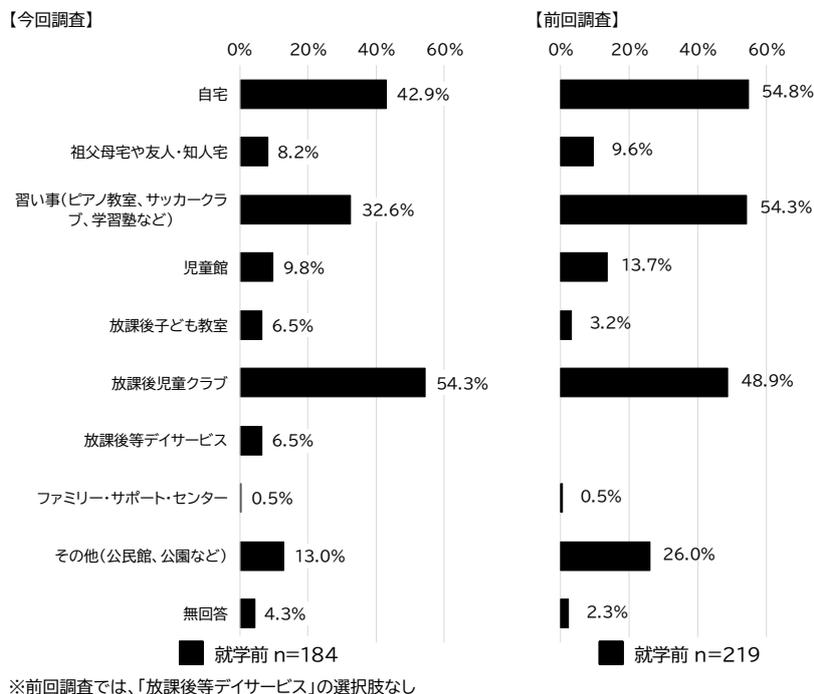
【ニーズ調査⑩:こどもが病気等で事業が利用できなかった・学校を休む必要があった際の対処方法】(複数回答有)



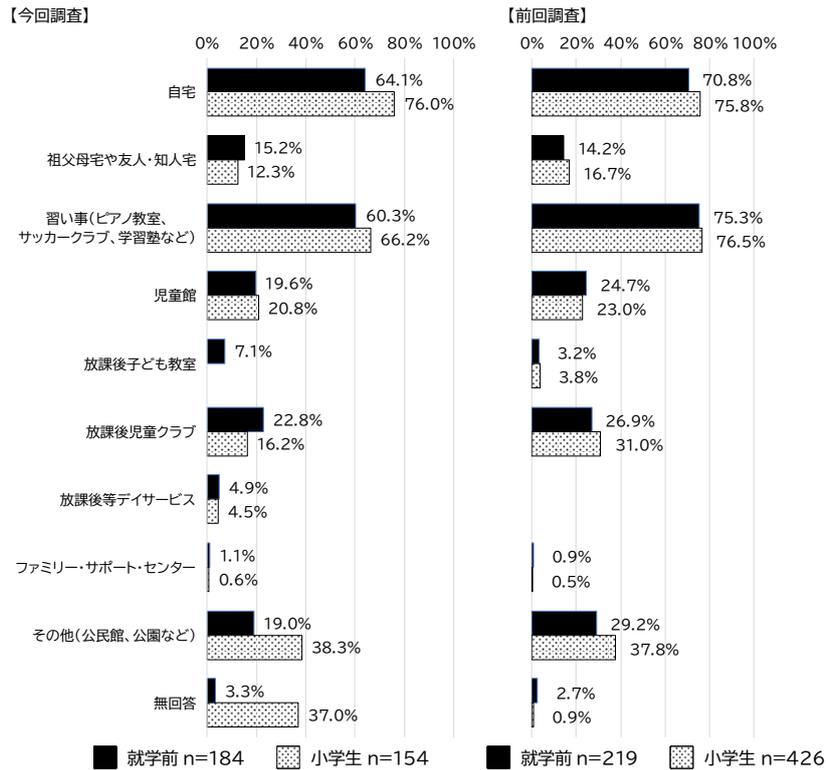
【ニーズ調査①:放課後(平日の学校終了後)の現在の過ごし方(小・中学生保護者)】(複数回答有)



【ニーズ調査②:小学校低学年の間、放課後を過ごさせたい場所(就学前保護者)】(複数回答有)

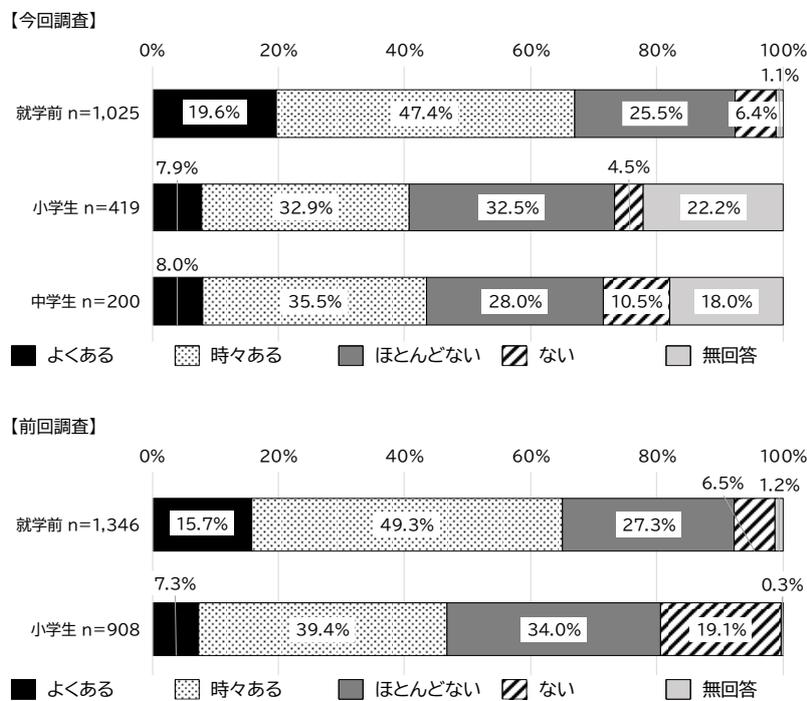


【ニーズ調査⑬:小学校高学年の間、放課後を過ごさせたい場所(就学前・小学校低学年保護者)】(複数回答有)



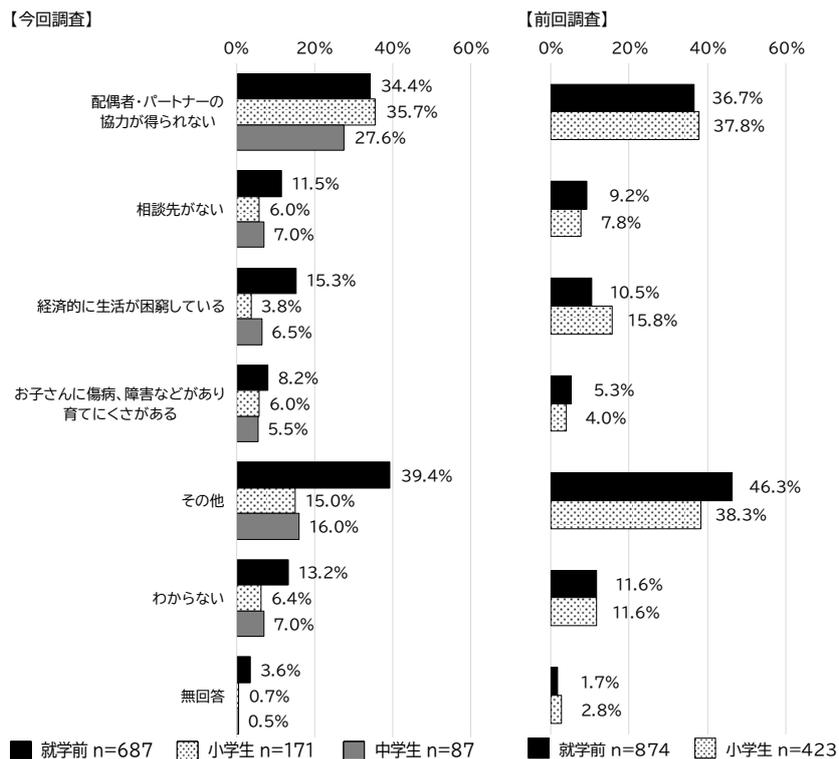
5. 子育ての不安や悩みなどについて

【ニーズ調査⑭:子育ての負担感】



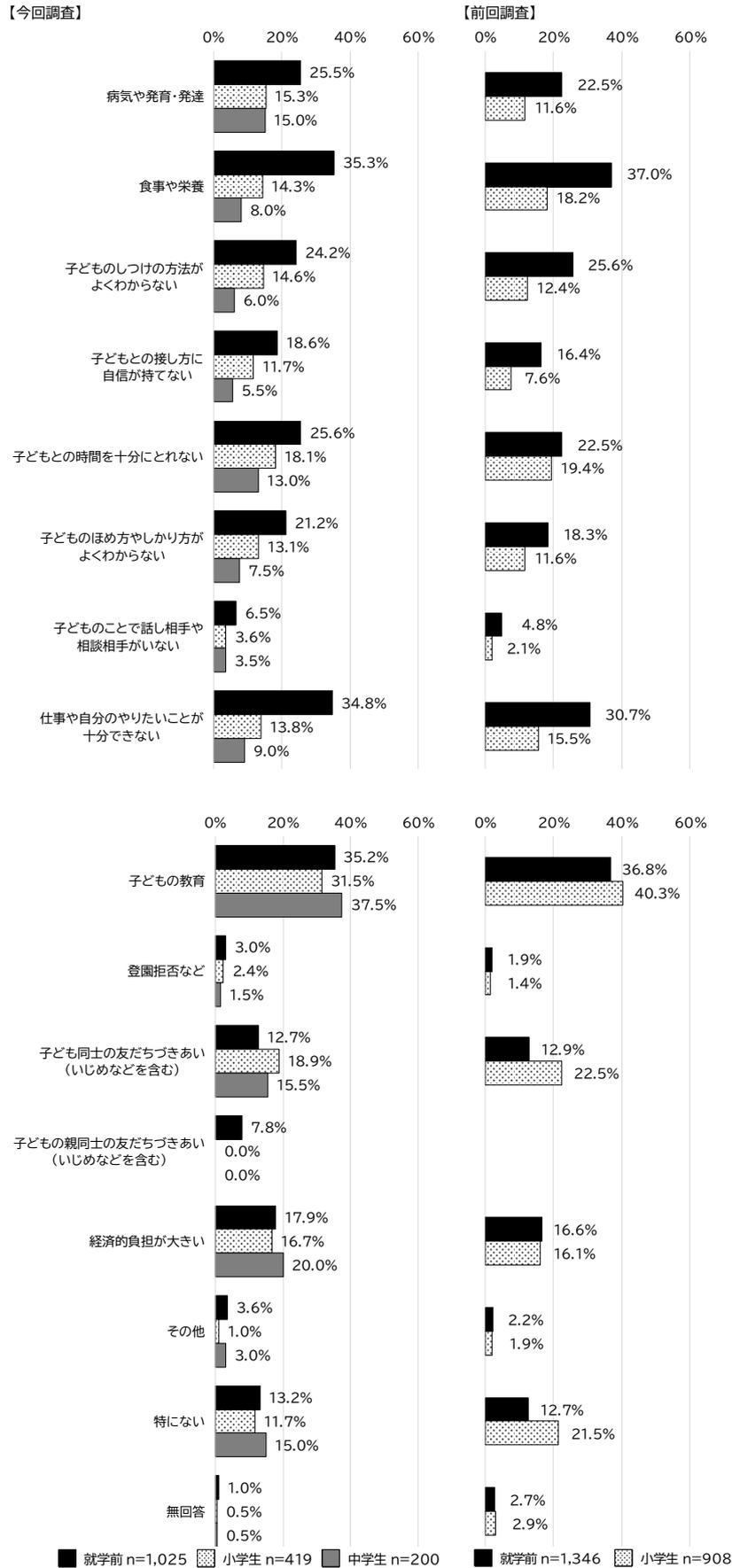
※前回調査では、中学生保護者はなし

【ニーズ調査⑮:子育ての負担を感じる理由】(複数回答有)

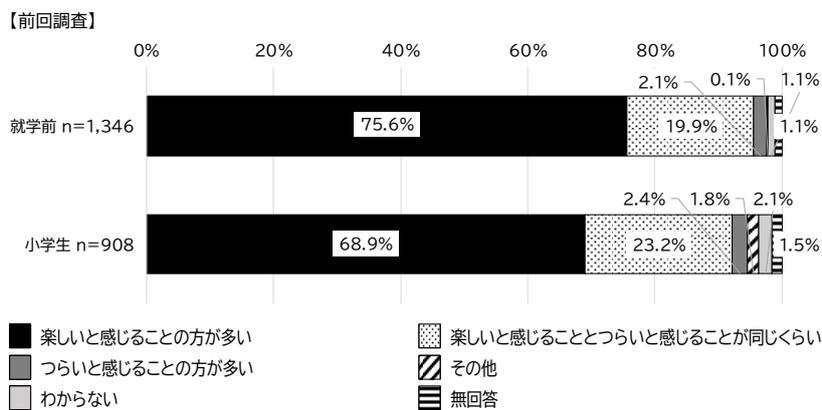
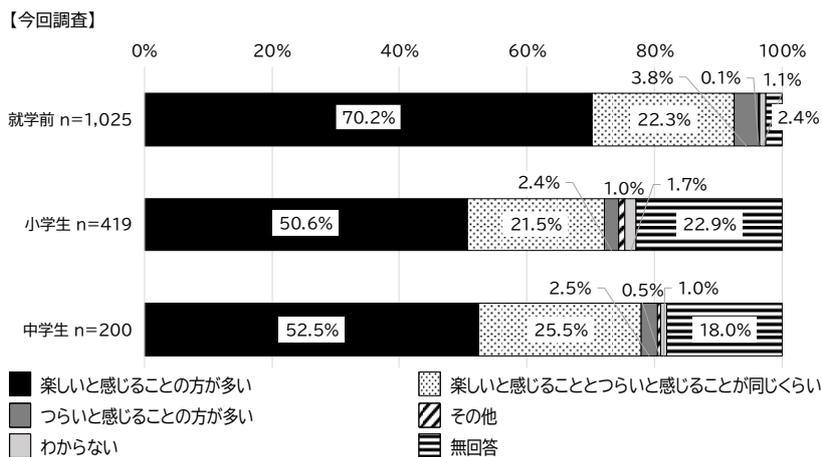


※前回調査では、中学生保護者はなし

【ニーズ調査⑩:子育てで悩んでいること、気になること】(複数回答有)

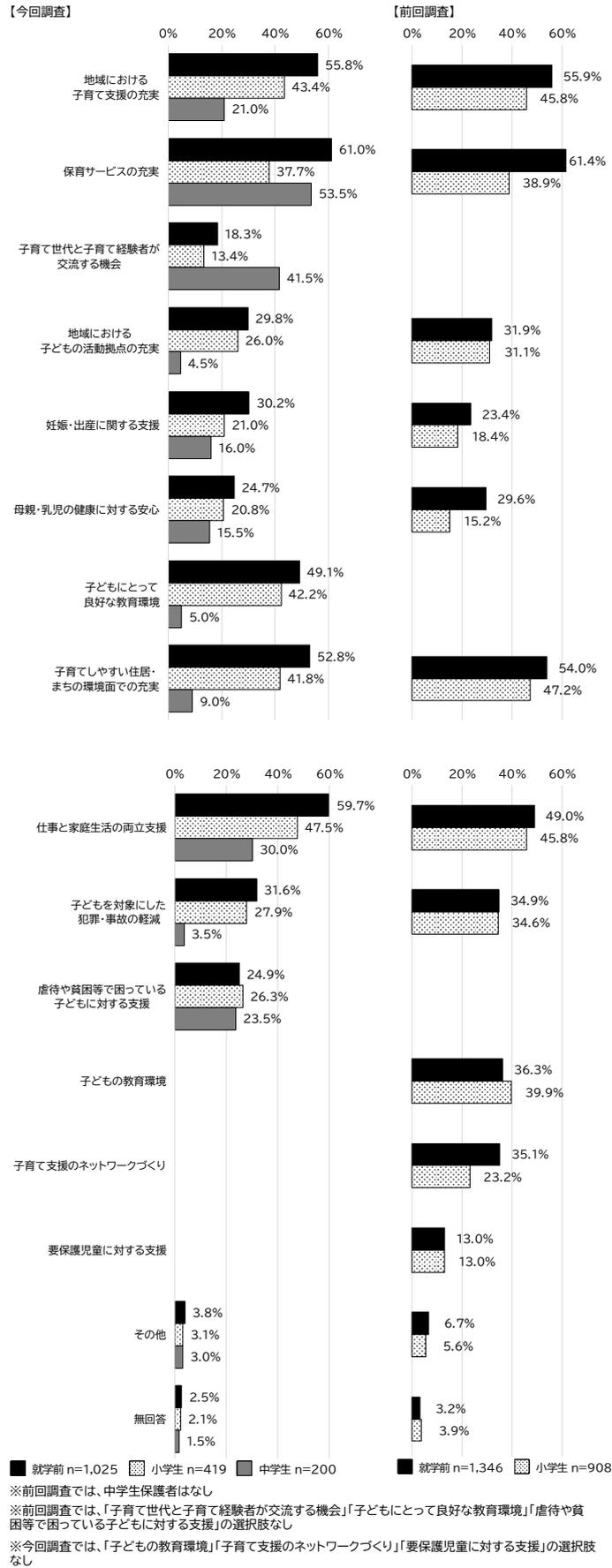


【ニーズ調査⑰:子育てに関して楽しいと感じるか・つらいと感じるか】



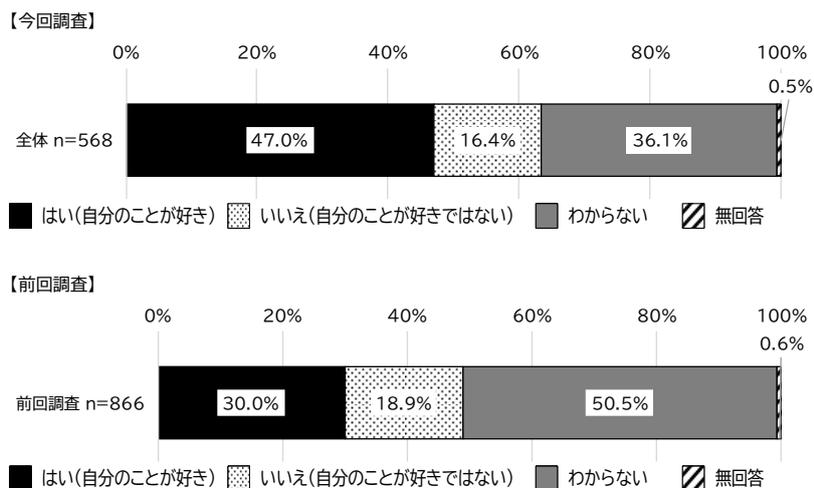
※前回調査では、中学生保護者はなし

【ニーズ調査⑱:子育ての不安感や負担感、つらさなどを解消するために必要なこと】(複数回答有)

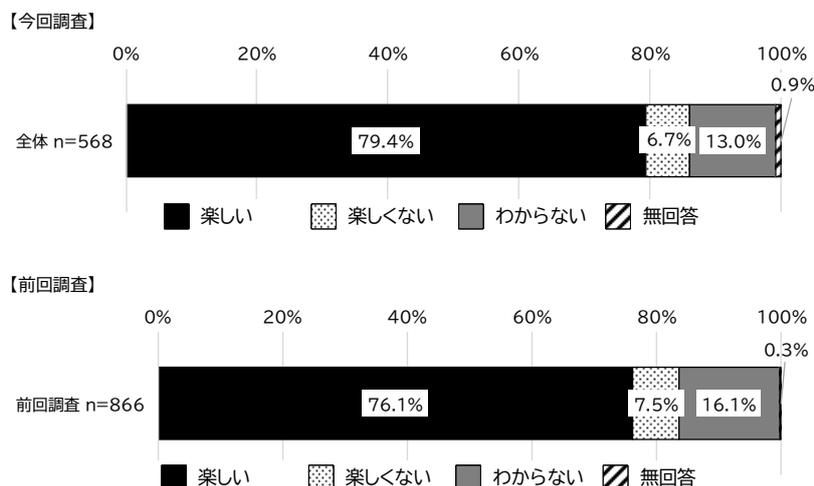


6. こどもの回答から見たこどもの現状

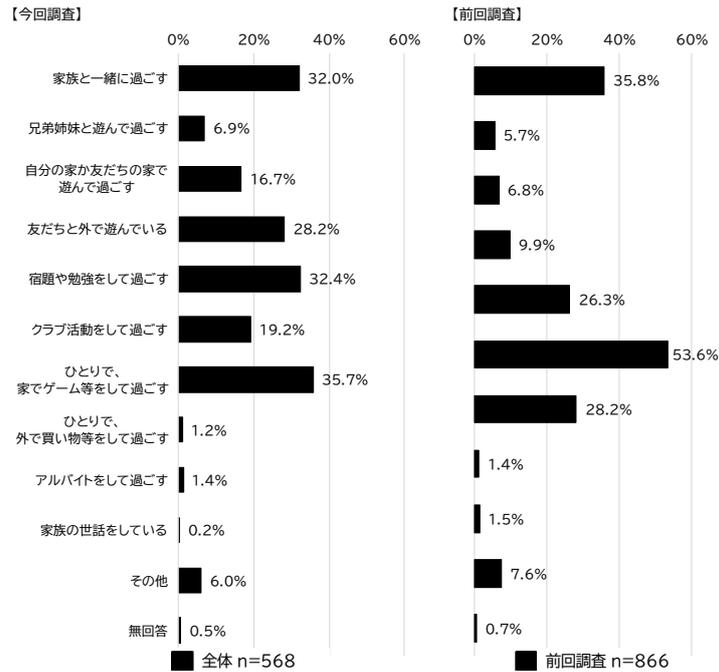
【ニーズ調査・子ども回答①:自分のことが好きかどうか】



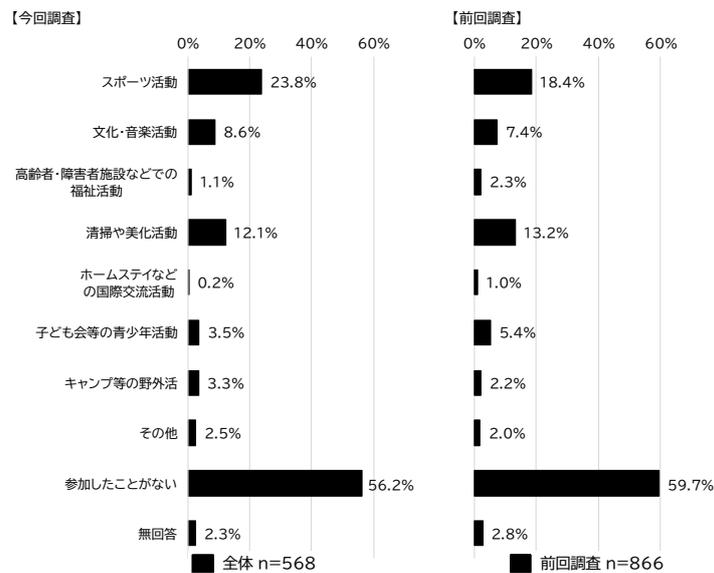
【ニーズ調査・子ども回答②:学校・仕事は楽しいかどうか】



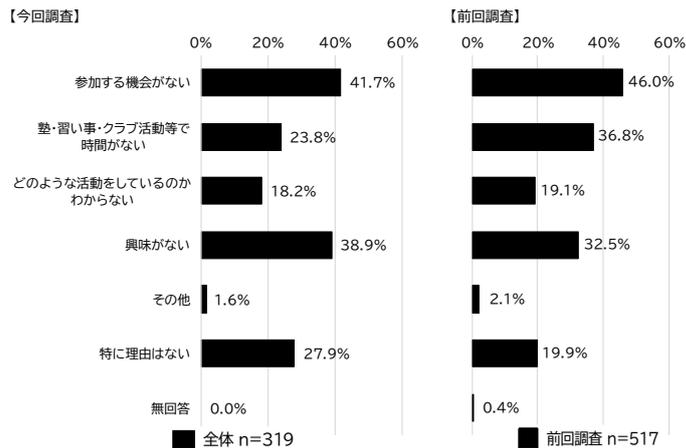
【ニーズ調査・子ども回答③:学校・仕事後の主な過ごし方】(複数回答有)



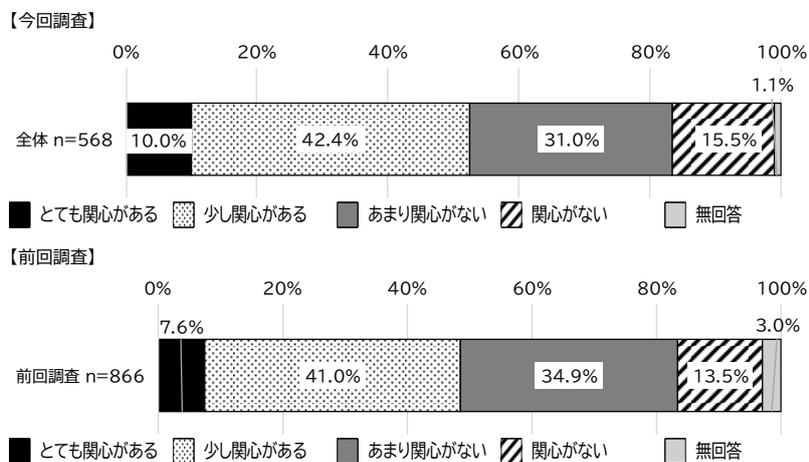
【ニーズ調査・子ども回答④:地域活動やグループ活動への参加有無】(複数回答有)



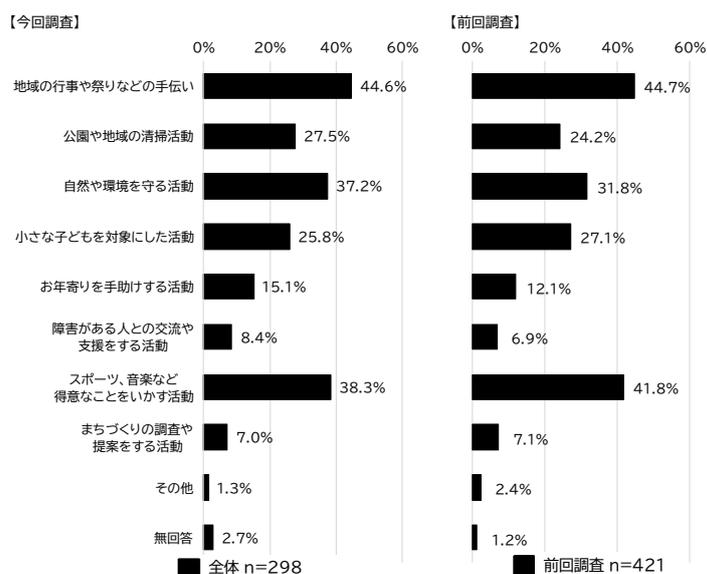
【ニーズ調査・子ども回答⑤:地域活動やグループ活動に参加していない理由】(複数回答有)



【ニーズ調査・子ども回答⑥:ボランティア活動への関心】

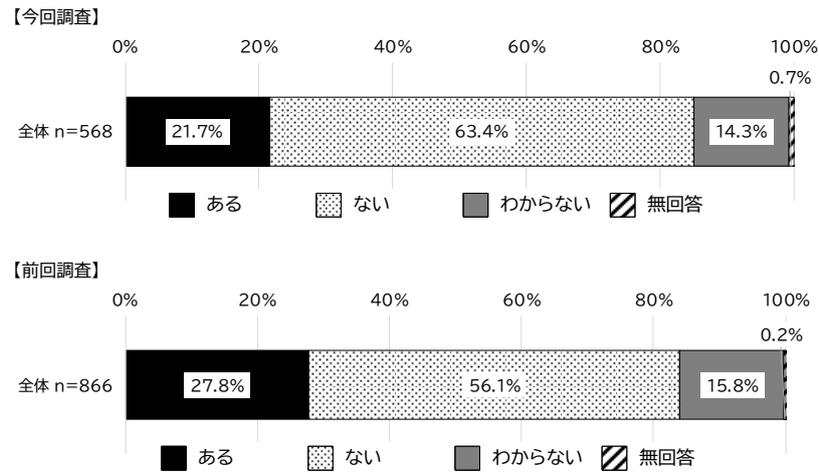


【ニーズ調査・子ども回答⑦:参加したいボランティア活動の種類】(複数回答有)

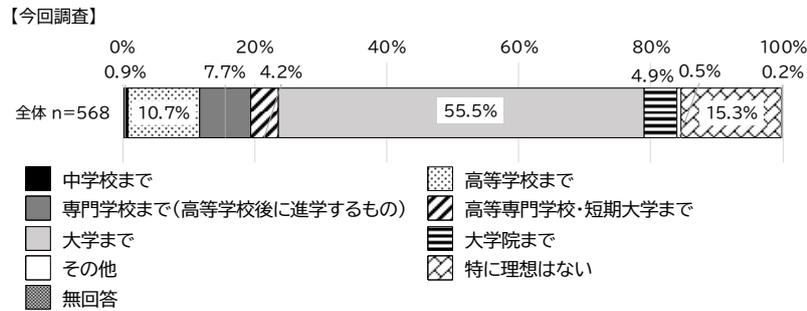


7. こどもの権利について

【ニーズ調査⑧:親にたたかれたり、ひどいことを言われたりした経験】



【ニーズ調査⑨:希望する進学先】



※前回調査では、設問なし

【ニーズ調査・こども回答⑩:朝霞市に望むこと】

◇まちづくり	56件
・コンビニや飲食店、商業施設をつくってほしい	23
・本屋の増加	5
・歩道・道路の整備	17
・交通網の充実	1
・緑の保全、環境美化	5
・ドッグランの設置	1
・公共施設の明るさや清潔さの改善	1
・観光スポットや名物等、市の魅力の創出	3
◇遊び場、スポーツ	57件
・スポーツやボール遊びのできる場や運動場の充実、増設	13
・誰でも遊べる場や公園等の充実、増設	14
・ボール遊びができる公園の増設、公園でのボール遊びの許可	12
・楽器を吹いてもよい公園の増設	1
・公園の環境改善、遊具の改修・増設	6
・テーマパークや遊園地、アスレチックの誘致・設置	6
・小学校高学年以上や中高生が遊べる場所の設置	2
・児童館のボール遊びの増加	1
・無料で利用できる室内運動場の増加	1
・児童館の音楽スタジオの利用可能の年齢の引き下げ	1
◇学校・教育	31件
・リュックサック登校の許可	2
・学校校舎や設備(プールやトイレ、網戸等)の改修・改善	16
・部活動の活動の制限の解消や、活動に対する援助	2
・テニスコートへの照明設置	1
・自習スペース等、勉強できる場所の設置	1
・相談しやすい環境の設定(紙のアンケートや iPad 入力の相談などを各学校に受付)	1
・学校のクラス分けの見直し	1
・教員の質の向上	1
・給食の改善、向上や値段を下げる	3
・いじめの解消、安心できる環境	3
◇行政	22件
・祭りや地域住民とふれあえるイベントの実施	8
・イルミネーションの改善	1
・支援の充実(大学や給食費の無償化、医療費負担の軽減、子育て支援等)	12
・環境問題を減らす活動の実施	1
◇防犯、安全	5件
・街灯の設置	4
・交通マナーの保全	1

【妊娠中・出産後の方、子育て支援施設、障害児関係団体】

■妊娠中・出産後の方

項目	内容
①出産や子育て・教育に関して気軽に相談できる先・情報源	<ul style="list-style-type: none"> ・相談先は、「家族」や「友人や知人」に相談する方が多い。 ・情報源としては、上記に加えて、「Instagram や Facebook、X(旧 Twitter)等のSNS」が多い。
②妊娠・出産・子育てに関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の方は、出産後に必要な情報について、特に十分に情報を得られていないと感じている方が一定数存在する。 ・妊娠中の方は、「子育て支援施設(幼稚園・保育所等)の受入れ」、「こどもに関する手当」、「病院(小児科)・休日当番医等」に関する情報を知りたい方が多い。 ・出産後の方は、前述した情報に加えて、「乳幼児健診、予防接種等」、「一時預かり(一時保育)、ファミリー・サポート・センターに関する情報」、「病院(産科)・助産師」「健康・発達」に関する情報を知りたい方が多い。
③地域の子育て支援事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中・出産後を問わず、認知度に対して利用経験が少ない傾向にある。 ・各事業が利用しやすくなるためには、「予約が簡単にできる」、「オンラインで利用できる」、「予約なしで自由に利用できる」ようになってほしいという意見が多い。

■子育て支援施設

項目	内容	
①子育て支援の観点から、当該施設について	良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と保護者、職員とこどもたちの関係性が良好である。 ・職員の入れ替わりが少なく、職員間の風通しが良い。 ・施設がきれい、施設が駅から近く使いやすい、おもちゃや遊具が充実している。
	改善すべきと思うところ	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の整備・改善(遊ぶスペースの確保、施設全体の老朽化等)。 ・研修を積極的に活用し、職員の資質を向上させていきたい。 ・(新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことも受け)利用者等との関わりを見直したい。 ・ネット予約ができるようになってほしいという要望もある。 ・重度心身障害のお子さんの利用が少なく、選択肢の一つになっていない。 ・日本語が堪能でないご家庭に対するフォローが不十分である。
②保護者や利用者から寄せられる要望・意見	市行政や子育てをめぐる環境全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・駅にエレベーターがなく、不便である。 ・4年生以降も学童保育が使えるようにしてほしい、学童施設を増やしてほしい。 ・正社員職員が少なく、離職が多い。 ・歩道が狭い、自転車のルールが周知徹底されていない。 ・一時預かり保育枠が少ない。

	施設等について	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外でもこどもを預かってほしい、預かり時間について柔軟な対応をしてほしい。 ・利用する際の荷物が多い。 ・保育サービスの拡充(一時預かり保育や学童保育、0歳児保育等) ・こどもの普段の様子が知りたい。 ・駐車場を増やしてほしい。
③最近のこどもをみて考えさせられたこと、問題だと思ったこと	保護者について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のこどもへの関わり方が未熟。こどもだけで遊ばせていることが多い。
	こどもたちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・しつけが不十分、こどもの主体性ばかりが尊重されすぎている。悪い時にダメだと注意しづらい。 ・発達の遅れが気になるこどもがいる。 ・タブレット等の使用時間が長く、睡眠時間が不足している。 ・小中高生の金銭感覚、昔と比べると高価なものを持っていることが多い。
④利用者とコミュニケーションを取る際に気を付けている工夫や困難なこと		<ul style="list-style-type: none"> ・誰がきても温かく迎え入れる。初めて来館される方にわかりやすく、丁寧に説明する。 ・相手の気持ちや立場を尊重し、コミュニケーションを取っている。 ・質問や不安な点について丁寧に対応している。 ・日頃の様子等を正直に伝えている、家庭でも協力してほしいことは積極的に伝えている。
⑤不足していると感じるサービス・事業		<ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実(一時預かり保育や休日保育、新4年生以上の居場所等)。 ・子育てについて相談できる窓口や事業。 ・サービス自体は充実していると思うが、その周知が不足している。 ・保育士が不足している(住宅借り上げ事業がないことで選択肢から外れている。処遇改善を充実させてほしい)。 ・障害児のお子さんや、外国人の親子に対する支援サービス。

■障害児関係団体

項目	内容	
①朝霞市の子育て支援制度やサービス、こどもたちを取り巻く環境	良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てガイドブックや、障害福祉課の窓口のパンフレット等、情報が得やすい。 ・公園や児童館等こどもの遊び場が充実している。 ・児童発達支援事業所が多いので、こどもと相性が良い事業所を選べる。受給者証が発行されやすい。
	改善すべきと思うところ	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等に連携(見学や訪問等)を断られるケースがある。 ・障害発達検査や、療育を受けられるところが少ない。 ・こういったサービスが行われているのかを把握できない、情報をまとめてほしい。

②保護者や利用者から寄せられる要望・意見	市行政や子育てをめぐる環境全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような悩みを抱えている保護者と交流をしたい、先輩ママの話が聞きたい。 ・相談できる人・場所がない。 ・就学相談の情報が少ない。 ・補助金
	障害児施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が就労を希望しているケースで、医療的ケア児を預かってくれる施設が少ない。 ・相談支援事業所の空きがない。セルフプラン申請となることが心配。 ・児童発達支援に比べて放課後等デイサービスの空きが少ない。療育を受けたくてもキャンセル待ちである。 ・受給者証発行までの流れがわかりづらい。発行に時間がかかる、対応が冷たい。
③保護者や児童本人からの障害についての悩みや、それに対する対応	福祉や保育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる範囲での情報提供をしている。 ・すでに障害児が通所している保育園を紹介している。
	医療に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医や総合病院等、内容に応じて案内している。 ・てんかんの対処法について相談された際は埼玉県の ZOOM 研修を SNS で見つけ、紹介した。 ・服薬に関する相談は、通所されているお子様の事例とともに病院への確認を推奨した。
	学校・教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や保育園訪問の実施。 ・就学の相談であれば、卒園児の保護者の体験談をお話いただく機会をつくったり、朝霞市の修学オリエンテーション。 ・資料の提供等をしている。 ・障害児が通える習い事について、営業で収集した情報を提供している。
	その他生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりお話ができる時間を設けるなど、相談支援員さんと内容を共有する等をしている。 ・自宅での特性に対する対処方法は、療育目線でアドバイスをを行った。 ・まずは悩みを聞いて、落ち着いてから提案するようにしている。
④朝霞市で子育てをする上で、必要な情報		<ul style="list-style-type: none"> ・サービスや支援をわかりやすくし、すべての園や学校は外部とつながっていることを明示してほしい。 ・こどもの育ちに心配があった時の相談先。 ・障害を受け入れてくれる医療現場の一覧表。
⑤不足していると感じるサービス・事業		<ul style="list-style-type: none"> ・障害児の一時預かり保育や、相談支援事業所。 ・小学校と、保育園・幼稚園・児童発達支援の就学時の連携。 ・子育て支援等の情報が得られるサービス。サービスについて情報収集したり、問い合わせができたりするアプリ。 ・こどもが急遽体調不良になった際の預け先。

5 こどもの生活に関するアンケート調査

1. 子育て家庭の経済的な状況

【生活困難度の分布】

	調査数	生活困難層	中間層	非該当層
小学5年生	476	24(5.0%)	89(18.7%)	363(76.3%)
中学2年生	237	13(5.5%)	38(16.0%)	186(78.5%)

本調査では、生活困難層を分析するための設問を設けています。しかし、一部回答者に回答がない、あるいは回答内容が分析に適さない等の理由により、分析対象から除外された回答があります。そのため、調査数の総計と有効回収数が一致しない点に御留意ください。

【生活困難度の分布(前回調査)】

	調査数	生活困難層	中間層	非該当層
小学5年生	856	48(5.6%)	140(16.4%)	668(78.0%)
中学2年生	401	19(4.7%)	67(16.7%)	315(78.6%)

【参考:生活困難度の分布(埼玉県)】

	調査数	中央値の1/2未満	中央値の1/2以上 中央値未満	中央値以上
小学5年生	665	58(8.7%)	245(36.8%)	362(54.5%)
中学2年生	556	70(12.6%)	222(39.9%)	264(47.5%)

次ページ以降の今回調査における「全体」は、クロス集計前の有効回収数の内訳を示しています。前回調査の「全体」は、クロス集計後の家庭数を表しており、内訳は生活困難層、中間層、非該当層の合計となっています。

今回の調査と前回調査では、「全体」の定義が異なりますので、比較の際は御留意ください。

2. 保護者の就労状況

【生活実態調査①:保護者の就労状況】

今回調査

(母親)

		上段(人) 下段(%)									
調査数		正社員・正規社員	パート・アルバイト	契約社員・非正規社員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答		
小学5年生	全体	491	139	188	17	12	22	5	105	3	
		28.3	38.3	3.5	2.4	4.5	1.0	21.4	0.6		
	生活困難層	24	1	12	1	0	3	0	5	2	
		4.2	50.0	4.2	0	12.5	0	20.8	8.3		
中学2年生	全体	244	67	99	10	8	8	4	42	6	
		27.5	40.6	4.1	3.3	3.3	1.6	17.2	2.5		
	生活困難層	13	4	6	1	0	0	0	1	1	
		30.8	46.2	7.7	0	0	0	7.7	7.7		
小学5年生	全体	491	139	188	17	12	22	5	105	3	
		28.3	38.3	3.5	2.4	4.5	1.0	21.4	0.6		
	生活困難層	24	1	12	1	0	3	0	5	2	
		4.2	50.0	4.2	0	12.5	0	20.8	8.3		
中学2年生	全体	244	67	99	10	8	8	4	42	6	
		27.5	40.6	4.1	3.3	3.3	1.6	17.2	2.5		
	生活困難層	13	4	6	1	0	0	0	1	1	
		30.8	46.2	7.7	0	0	0	7.7	7.7		

前回調査

		上段(人) 下段(%)									
調査数		正社員・正規社員	パート・アルバイト	契約社員・非正規社員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答		
小学5年生	全体	815	151	375	34	19	33	18	177	8	
		18.5	46.0	4.2	2.3	4.0	2.2	21.7	1.0		
	生活困難層	42	3	25	2	1	2	1	7	1	
		7.1	59.5	4.8	2.4	4.8	2.4	16.7	2.4		
中学2年生	全体	383	73	204	17	9	17	5	58	0	
		19.1	53.3	4.4	2.3	4.4	1.3	15.1	0		
	生活困難層	18	2	12	0	0	2	0	2	0	
		11.1	66.7	0	0	11.1	0	11.1	0		
小学5年生	全体	815	151	375	34	19	33	18	177	8	
		18.5	46.0	4.2	2.3	4.0	2.2	21.7	1.0		
	生活困難層	42	3	25	2	1	2	1	7	1	
		7.1	59.5	4.8	2.4	4.8	2.4	16.7	2.4		
中学2年生	全体	383	73	204	17	9	17	5	58	0	
		19.1	53.3	4.4	2.3	4.4	1.3	15.1	0		
	生活困難層	18	2	12	0	0	2	0	2	0	
		11.1	66.7	0	0	11.1	0	11.1	0		

(父親)

		上段(人) 下段(%)									
調査数		正社員・正規社員	パート・アルバイト	契約社員・非正規社員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答		
小学5年生	全体	491	410	6	4	1	48	3	4	15	
		83.5	1.2	0.8	0.2	9.8	0.6	0.8	3.1		
	生活困難層	24	9	3	2	0	7	1	0	2	
		37.5	12.5	8.3	0	29.2	4.2	0	8.3		
中学2年生	全体	244	207	1	0	0	18	2	2	14	
		84.8	0.4	0	0	7.4	0.8	0.8	5.7		
	生活困難層	13	2	0	0	0	1	2	1	7	
		15.4	0	0	0	7.7	15.4	7.7	53.8		
小学5年生	全体	491	410	6	4	1	48	3	4	15	
		83.5	1.2	0.8	0.2	9.8	0.6	0.8	3.1		
	生活困難層	24	9	3	2	0	7	1	0	2	
		37.5	12.5	8.3	0	29.2	4.2	0	8.3		
中学2年生	全体	244	207	1	0	0	18	2	2	14	
		84.8	0.4	0	0	7.4	0.8	0.8	5.7		
	生活困難層	13	2	0	0	0	1	2	1	7	
		15.4	0	0	0	7.7	15.4	7.7	53.8		

		上段(人) 下段(%)									
調査数		正社員・正規社員	パート・アルバイト	契約社員・非正規社員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答		
小学5年生	全体	774	638	6	7	0	100	9	5	9	
		82.4	0.8	0.9	0	12.9	1.2	0.6	1.2		
	生活困難層	25	7	3	1	0	8	1	4	1	
		28.0	12.0	4.0	0	32.0	4.0	16.0	4.0		
中学2年生	全体	362	303	1	7	0	43	3	1	4	
		83.7	0.3	1.9	0	11.9	0.8	0.3	1.1		
	生活困難層	7	2	0	0	0	5	0	0	0	
		28.6	0	0	0	71.4	0	0	0		
小学5年生	全体	774	638	6	7	0	100	9	5	9	
		82.4	0.8	0.9	0	12.9	1.2	0.6	1.2		
	生活困難層	25	7	3	1	0	8	1	4	1	
		28.0	12.0	4.0	0	32.0	4.0	16.0	4.0		
中学2年生	全体	362	303	1	7	0	43	3	1	4	
		83.7	0.3	1.9	0	11.9	0.8	0.3	1.1		
	生活困難層	7	2	0	0	0	5	0	0	0	
		28.6	0	0	0	71.4	0	0	0		

3. 子育て家庭の貧困経験

【生活実態調査②:お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えない経験の有無】

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答
小学5年生	全体	491	7	34	448	2
			1.4	6.9	91.2	0.4
	生活困難層	24	2	9	13	0
			8.3	37.5	54.2	0
中間層	89	2	8	79	0	
		2.2	9.0	88.8	0	
非該当層	363	2	16	343	2	
		0.6	4.4	94.5	0.6	
中学2年生	全体	244	6	17	220	1
			2.5	7.0	90.2	0.4
	生活困難層	13	4	2	7	0
			30.8	15.4	53.8	0
中間層	38	1	8	29	0	
		2.6	21.1	76.3	0	
非該当層	186	1	6	179	0	
		0.5	3.2	96.2	0	

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答
小学5年生	全体	856	18	63	763	12
			2.1	7.4	89.1	1.4
	生活困難層	48	13	14	21	0
			27.1	29.2	43.8	0
中間層	140	2	20	117	1	
		1.4	14.3	83.6	0.7	
非該当層	668	3	29	625	11	
		0.4	4.3	93.6	1.6	
中学2年生	全体	401	11	40	341	9
			2.7	10.0	85.0	2.2
	生活困難層	19	7	2	10	0
			36.8	10.5	52.6	0
中間層	67	2	11	53	1	
		3.0	16.4	79.1	1.5	
非該当層	315	2	27	278	8	
		0.6	8.6	88.3	2.5	

【生活実態調査③過去1年間に経済的な理由のため『電話料金』を支払えなかった経験】

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	あった	なかった	払う必要がない(該当しない)	無回答
小学5年生	全体	491	6	476	7	2
			1.2	96.9	1.4	0.4
	生活困難層	24	3	20	0	1
			12.5	83.3	0	4.2
中間層	89	2	87	0	0	
		2.2	97.8	0	0	
非該当層	363	1	354	7	1	
		0.3	97.5	1.9	0.3	
中学2年生	全体	244	4	238	1	1
			1.6	97.5	0.4	0.4
	生活困難層	13	3	9	1	0
			23.1	69.2	7.7	0
中間層	38	1	37	0	0	
		2.6	97.4	0	0	
非該当層	186	0	186	0	0	
		0	100.0	0	0	

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	あった	なかった	払う必要がない(該当しない)	無回答
小学5年生	全体	856	22	812	11	11
			2.6	94.9	1.3	1.3
	生活困難層	48	10	36	1	1
			20.8	75.0	2.1	2.1
中間層	140	3	133	3	1	
		2.1	95.0	2.1	0.7	
非該当層	668	9	643	7	9	
		1.3	96.3	1.0	1.3	
中学2年生	全体	401	11	375	5	10
			2.7	93.5	1.2	2.5
	生活困難層	19	5	13	1	0
			26.3	68.4	5.3	0
中間層	67	2	65	0	0	
		3.0	97.0	0	0	
非該当層	315	4	297	4	10	
		1.3	94.3	1.3	3.2	

4. 子育て家庭の教育費の準備状況

【生活実態調査④:教育費の準備状況】

今回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	十分準備 できている	準備を 始めている	まったく準備が できていない	無回答
小学5年生	全体	491	63	312	116	0
			12.8	63.5	23.6	0
	生活困難層	24	0	8	16	0
			0	33.3	66.7	0
中学2年生	全体	244	46	153	43	2
			18.9	62.7	17.6	0.8
	生活困難層	13	0	6	7	0
			0	46.2	53.8	0
小学5年生	全体	89	4	47	38	0
			4.5	52.8	42.7	0
	中間層	363	55	248	60	0
			15.2	68.3	16.5	0
中学2年生	全体	401	53	248	84	16
			13.2	61.8	20.9	4.0
	生活困難層	19	1	9	9	0
			5.3	47.4	47.4	0
小学5年生	全体	67	1	37	29	0
			1.5	55.2	43.3	0
	中間層	315	51	202	46	16
			16.2	64.1	14.6	5.1

前回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	十分準備 できている	準備を 始めている	まったく準備が できていない	無回答
小学5年生	全体	856	92	563	181	20
			10.7	65.8	21.1	2.3
	生活困難層	48	2	13	32	1
			4.2	27.1	66.7	2.1
中学2年生	全体	140	2	81	55	2
			1.4	57.9	39.3	1.4
	生活困難層	668	88	469	94	17
			13.2	70.2	14.1	2.5
小学5年生	全体	401	53	248	84	16
			13.2	61.8	20.9	4.0
	生活困難層	19	1	9	9	0
			5.3	47.4	47.4	0
中学2年生	全体	67	1	37	29	0
			1.5	55.2	43.3	0
	生活困難層	315	51	202	46	16
			16.2	64.1	14.6	5.1

5. 家庭でのこどもと保護者の関わりの状況

【生活実態調査⑤:家庭でのこどもと保護者の関わりの状況】

(お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ)

今回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	毎日ある	週に3~4回	週に1~2回	まったくない
小学5年生	全体	491	158	199	130	4
			32.2	40.5	26.5	0.8
	生活困難層	24	7	8	8	1
			29.2	33.3	33.3	4.2
中学2年生	全体	89	31	37	20	1
			34.8	41.6	22.5	1.1
	生活困難層	363	113	150	98	2
			31.1	41.3	27.0	0.6
小学5年生	全体	244	47	101	88	6
			19.3	41.4	36.1	2.5
	生活困難層	13	2	7	3	0
			15.4	53.8	23.1	0
中学2年生	全体	38	5	16	14	3
			13.2	42.1	36.8	7.9
	生活困難層	186	40	76	66	3
			21.5	40.9	35.5	1.6

前回調査

		上段(人) 下段(%)				
		調査数	毎日ある	週に3~4回	週に1~2回	まったくない
小学5年生	全体	856	205	363	265	14
			23.9	42.4	31.0	1.6
	生活困難層	48	11	24	11	2
			22.9	50.0	22.9	4.2
中学2年生	全体	140	24	65	44	7
			17.1	46.4	31.4	5.0
	生活困難層	668	170	274	210	5
			25.4	41.0	31.4	0.7
小学5年生	全体	401	80	123	179	13
			20.0	30.7	44.6	3.2
	生活困難層	19	5	3	8	2
			26.3	15.8	42.1	10.5
中学2年生	全体	67	14	22	27	4
			20.9	32.8	40.3	6.0
	生活困難層	315	61	98	144	7
			19.4	31.1	45.7	2.2

6. 子育てについての悩み

【生活実態調査⑥:子育てについての悩み】(複数回答有)

今回調査

		調査数	子どもと過ごす時間が持てない	子どもとの関わり方	子どもの病気や障害	子どもの病気や暴言・暴力	子どもの反抗や引きこもり	子どもの不登校や関係やいじめ	他の保護者との関係	学校の先生との関係	家族間での教育方針の違い	その他	特に悩みはない	無回答
小学5年生	全体	491	65	158	50	68	21	70	29	20	25	63	190	1
			13.2	32.2	10.2	13.8	4.3	14.3	5.9	4.1	5.1	12.8	38.7	0.2
	生活困難層	24	4	6	2	4	2	6	2	1	4	4	8	0
			16.7	25.0	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	4.2	16.7	16.7	33.3	0
	中間層	89	11	25	10	14	7	12	4	7	4	12	36	0
		12.4	28.1	11.2	15.7	7.9	13.5	4.5	7.9	4.5	13.5	40.4	0	
非該当層	363	49	117	37	49	12	48	22	11	16	45	144	0	
		13.5	32.2	10.2	13.5	3.3	13.2	6.1	3.0	4.4	12.4	39.7	0	
中学2年生	全体	244	21	62	25	24	17	26	9	16	13	37	94	3
			8.6	25.4	10.2	9.8	7.0	10.7	3.7	6.6	5.3	15.2	38.5	1.2
	生活困難層	13	1	3	1	2	0	0	1	1	2	5	4	0
			7.7	23.1	7.7	15.4	0	0	7.7	7.7	15.4	38.5	30.8	0
	中間層	38	2	8	8	7	3	6	1	5	1	4	15	0
		5.3	21.1	21.1	18.4	7.9	15.8	2.6	13.2	2.6	10.5	39.5	0	
非該当層	186	15	47	15	14	12	20	7	9	10	28	74	0	
		8.1	25.3	8.1	7.5	6.5	10.8	3.8	4.8	5.4	15.1	39.8	0	

前回調査

		調査数	子どもと過ごす時間が持てない	子どもとの関わり方	子どもの病気や障害	子どもの病気や暴言・暴力	子どもの反抗や引きこもり	子どもの不登校や関係やいじめ	他の保護者との関係	学校の先生との関係	家族間での教育方針の違い	その他	特に悩みはない	無回答
小学5年生	全体	856	107	224	68	105	17	90	58	21	50	70	360	20
			12.5	26.2	7.9	12.3	2.0	10.5	6.8	2.5	5.8	8.2	42.1	2.3
	生活困難層	48	9	13	6	6	0	3	5	1	2	4	18	1
			18.8	27.1	12.5	12.5	0	6.3	10.4	2.1	4.2	8.3	37.5	2.1
	中間層	140	25	41	13	27	4	13	10	2	9	6	50	3
		17.9	29.3	9.3	19.3	2.9	9.3	7.1	1.4	6.4	4.3	35.7	2.1	
非該当層	668	73	170	49	72	13	74	43	18	39	60	292	16	
		10.9	25.4	7.3	10.8	1.9	11.1	6.4	2.7	5.8	9.0	43.7	2.4	
中学2年生	全体	401	35	91	19	40	5	33	17	24	28	57	175	12
			8.7	22.7	4.7	10.0	1.2	8.2	4.2	6.0	7.0	14.2	43.6	3.0
	生活困難層	19	4	6	1	4	0	4	3	0	0	1	7	0
			21.1	31.6	5.3	21.1	0	21.1	15.8	0	0	5.3	36.8	0
	中間層	67	5	17	3	4	1	8	5	5	3	12	22	3
		7.5	25.4	4.5	6.0	1.5	11.9	7.5	7.5	4.5	17.9	32.8	4.5	
非該当層	315	26	68	15	32	4	21	9	19	25	44	146	9	
		8.3	21.6	4.8	10.2	1.3	6.7	2.9	6.0	7.9	14.0	46.3	2.9	

7. 子育てについての相談相手・相談先

【生活実態調査⑦:子育てについての相談相手・相談先(こどもの勉強や学校に関する相談)】(複数回答有)

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	家族 (配偶者や自分の親・ 兄弟姉妹・親せきなど)	身近な人 (友人や同僚、 地域の人など)	子どもの通う学校の先生	市役所、福祉事務所、児童 相談所などの行政の相談窓口	相談できる人はいない	無回答
小学5年生	全体	491	405	353	162	20	18	2
			82.5	71.9	33.0	4.1	3.7	0.4
	生活困難層	24	17	16	10	0	3	0
			70.8	66.7	41.7	0	12.5	0
中学2年生	全体	244	208	171	84	4	8	1
			85.2	70.1	34.4	1.6	3.3	0.4
	生活困難層	13	11	8	7	1	1	0
			84.6	61.5	53.8	7.7	7.7	0
小学5年生	中間層	89	75	70	30	4	1	0
			84.3	78.7	33.7	4.5	1.1	0
	非該当層	363	302	258	116	16	13	1
			83.2	71.1	32.0	4.4	3.6	0.3
中学2年生	全体	401	291	270	152	5	9	10
			72.6	67.3	37.9	1.2	2.2	2.5
	生活困難層	19	13	16	3	0	1	0
			68.4	84.2	15.8	0	5.3	0
小学5年生	中間層	140	107	90	53	0	3	1
			76.4	64.3	37.9	0	2.1	0.7
	非該当層	668	550	459	257	8	9	5
			82.3	68.7	38.5	1.2	1.3	0.7
中学2年生	全体	401	291	270	152	5	9	10
			72.6	67.3	37.9	1.2	2.2	2.5
	生活困難層	19	13	16	3	0	1	0
			68.4	84.2	15.8	0	5.3	0
小学5年生	中間層	67	42	35	24	1	4	4
			62.7	52.2	35.8	1.5	6.0	6.0
	非該当層	315	236	219	125	4	4	6
			74.9	69.5	39.7	1.3	1.3	1.9

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	家族 (配偶者や自分の親・ 兄弟姉妹・親せきなど)	身近な人 (友人や同僚、 地域の人など)	子どもの通う学校の先生	市役所、福祉事務所、児童 相談所などの行政の相談窓口	相談できる人はいない	無回答
小学5年生	全体	856	693	575	322	8	13	6
			81.0	67.2	37.6	0.9	1.5	0.7
	生活困難層	48	36	26	12	0	1	0
			75.0	54.2	25.0	0	2.1	0
中学2年生	中間層	140	107	90	53	0	3	1
			76.4	64.3	37.9	0	2.1	0.7
	非該当層	668	550	459	257	8	9	5
			82.3	68.7	38.5	1.2	1.3	0.7
小学5年生	全体	401	291	270	152	5	9	10
			72.6	67.3	37.9	1.2	2.2	2.5
	生活困難層	19	13	16	3	0	1	0
			68.4	84.2	15.8	0	5.3	0
中学2年生	中間層	67	42	35	24	1	4	4
			62.7	52.2	35.8	1.5	6.0	6.0
	非該当層	315	236	219	125	4	4	6
			74.9	69.5	39.7	1.3	1.3	1.9

【生活実態調査⑧:子育てについての相談相手・相談先(こどもの健康や発育に関する相談)】(複数回答有)

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	家族 (配偶者や自分の親・ 兄弟姉妹・親せきなど)	身近な人 (友人や同僚、 地域の人など)	子どもの通う学校の先生	市役所、福祉事務所、児童 相談所などの行政の相談窓口	相談できる人はいない	無回答
小学5年生	全体	491	428	323	71	34	12	4
			87.2	65.8	14.5	6.9	2.4	0.8
	生活困難層	24	19	18	3	1	2	0
			79.2	75.0	12.5	4.2	8.3	0
中学2年生	中間層	89	78	62	15	5	2	0
			87.6	69.7	16.9	5.6	2.2	0
	非該当層	363	320	236	51	27	8	3
			88.2	65.0	14.0	7.4	2.2	0.8
小学5年生	全体	244	213	156	35	13	9	1
			87.3	63.9	14.3	5.3	3.7	0.4
	生活困難層	13	11	8	1	0	1	0
			84.6	61.5	7.7	0	7.7	0
中学2年生	中間層	38	28	25	9	1	3	0
			73.7	65.8	23.7	2.6	7.9	0
	非該当層	186	168	119	25	12	5	1
			90.3	64.0	13.4	6.5	2.7	0.5

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	家族 (配偶者や自分の親・ 兄弟姉妹・親せきなど)	身近な人 (友人や同僚、 地域の人など)	子どもの通う学校の先生	市役所、福祉事務所、児童 相談所などの行政の相談窓口	相談できる人はいない	無回答
小学5年生	全体	856	725	544	100	56	17	12
			84.7	63.6	11.7	6.5	2.0	1.4
	生活困難層	48	33	27	3	2	2	2
			68.8	56.3	6.3	4.2	4.2	4.2
中学2年生	中間層	140	117	84	19	10	3	1
			83.6	60.0	13.6	7.1	2.1	0.7
	非該当層	668	575	433	78	44	12	9
			86.1	64.8	11.7	6.6	1.8	1.3
小学5年生	全体	401	330	239	44	21	11	8
			82.3	59.6	11.0	5.2	2.7	2.0
	生活困難層	19	15	12	1	0	1	0
			78.9	63.2	5.3	0	5.3	0
中学2年生	中間層	67	49	34	6	4	3	3
			73.1	50.7	9.0	6.0	4.5	4.5
	非該当層	315	266	193	37	17	7	5
			84.4	61.3	11.7	5.4	2.2	1.6

8. 公的機関への相談状況

【生活実態調査⑨:公的機関への相談状況(市役所・福祉事務所の窓口)】

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	相談する	相談しない	無回答
小学5年生	全体	491	173	316	2
			35.2	64.4	0.4
	生活困難層	24	6	18	0
			25.0	75.0	0
中間層	89	29	60	0	
		32.6	67.4	0	
非該当層	363	131	231	1	
		36.1	63.6	0.3	
中学2年生	全体	244	95	147	1
			38.9	60.2	0.4
	生活困難層	13	8	5	0
			61.5	38.5	0
中間層	38	15	23	0	
		39.5	60.5	0	
非該当層	186	70	114	2	
		37.6	61.3	1.1	

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	相談する	相談しない	無回答
小学5年生	全体	856	343	493	20
			40.1	57.6	2.3
	生活困難層	48	19	28	1
			39.6	58.3	2.1
中間層	140	48	89	3	
		34.3	63.6	2.1	
非該当層	668	276	376	16	
		41.3	56.3	2.4	
中学2年生	全体	401	159	227	15
			39.7	56.6	3.7
	生活困難層	19	5	13	1
			26.3	68.4	5.3
中間層	67	26	38	3	
		38.8	56.7	4.5	
非該当層	315	128	176	11	
		40.6	55.9	3.5	

【生活実態調査⑩:公的機関への相談状況(子どもが通う学校の先生)】

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	相談する	相談しない	無回答
小学5年生	全体	491	280	207	4
			57.0	42.2	0.8
	生活困難層	24	15	9	0
			62.5	37.5	0
中間層	89	50	38	1	
		56.2	42.7	1.1	
非該当層	363	209	153	1	
		57.6	42.1	0.3	
中学2年生	全体	244	150	93	1
			61.5	38.1	0.4
	生活困難層	13	10	3	0
			76.9	23.1	0
中間層	38	27	11	0	
		71.1	28.9	0	
非該当層	186	108	77	1	
		58.1	41.4	0.5	

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	相談する	相談しない	無回答
小学5年生	全体	856	520	311	25
			60.7	36.3	2.9
	生活困難層	48	22	24	2
			45.8	50.0	4.2
中間層	140	81	55	4	
		57.9	39.3	2.9	
非該当層	668	417	232	19	
		62.4	34.7	2.8	
中学2年生	全体	401	228	161	12
			56.9	40.1	3.0
	生活困難層	19	6	13	0
			31.6	68.4	0
中間層	67	37	27	3	
		55.2	40.3	4.5	
非該当層	315	185	121	9	
		58.7	38.4	2.9	

9. こどもの朝食・歯みがきの状況

【生活実態調査⑪:こどもの朝食の摂取状況】

今回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	毎日食べる (週4日~6日)	食べない方が多い (週4日~6日)	ほとんど食べない	無回答		
小学5年生	全体	491	452	28	9	1	1	
			92.1	5.7	1.8	0.2	0.2	
	生活困難層	24	19	3	2	0	0	
			79.2	12.5	8.3	0	0	
中学2年生	全体	244	215	20	6	3	0	
			88.1	8.2	2.5	1.2	0	
	生活困難層	13	9	3	0	1	0	
			69.2	23.1	0	7.7	0	
小学5年生	中間層	89	81	6	2	0	0	
			91.0	6.7	2.2	0	0	
	非該当層	363	338	19	5	1	0	
			93.1	5.2	1.4	0.3	0	
中学2年生	全体	401	359	19	10	9	4	
			89.5	4.7	2.5	2.2	1.0	
	生活困難層	19	17	0	1	1	0	
			89.5	0	5.3	5.3	0	
小学5年生	中間層	140	125	4	8	3	0	
			89.3	2.9	5.7	2.1	0	
	非該当層	668	629	28	6	2	3	
			94.2	4.2	0.9	0.3	0.4	
中学2年生	全体	401	359	19	10	9	4	
			89.5	4.7	2.5	2.2	1.0	
	生活困難層	19	17	0	1	1	0	
			89.5	0	5.3	5.3	0	
小学5年生	中間層	67	56	5	3	2	1	
			83.6	7.5	4.5	3.0	1.5	
	非該当層	315	286	14	6	6	3	
			90.8	4.4	1.9	1.9	1.0	

前回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	毎日食べる (週4日~6日)	食べない方が多い (週4日~6日)	ほとんど食べない	無回答		
小学5年生	全体	856	791	38	18	6	3	
			92.4	4.4	2.1	0.7	0.4	
	生活困難層	48	37	6	4	1	0	
			77.1	12.5	8.3	2.1	0	
中学2年生	全体	401	359	19	10	9	4	
			89.5	4.7	2.5	2.2	1.0	
	生活困難層	19	17	0	1	1	0	
			89.5	0	5.3	5.3	0	
小学5年生	中間層	140	125	4	8	3	0	
			89.3	2.9	5.7	2.1	0	
	非該当層	668	629	28	6	2	3	
			94.2	4.2	0.9	0.3	0.4	
中学2年生	全体	401	359	19	10	9	4	
			89.5	4.7	2.5	2.2	1.0	
	生活困難層	19	17	0	1	1	0	
			89.5	0	5.3	5.3	0	
小学5年生	中間層	67	56	5	3	2	1	
			83.6	7.5	4.5	3.0	1.5	
	非該当層	315	286	14	6	6	3	
			90.8	4.4	1.9	1.9	1.0	

【生活実態調査⑫:こどもの歯みがきの状況】

今回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	必ず磨いている	たいてい磨いている	ほとんど磨いていない	まったく磨いていない	わからない	無回答
小学5年生	全体	491	87	293	100	6	3	2
			17.7	59.7	20.4	1.2	0.6	0.4
	生活困難層	24	7	13	3	1	0	0
			29.2	54.2	12.5	4.2	0	0
中学2年生	全体	244	45	144	42	7	5	1
			18.4	59.0	17.2	2.9	2.0	0.4
	生活困難層	13	2	7	2	1	1	0
			15.4	53.8	15.4	7.7	7.7	0
小学5年生	中間層	89	11	56	19	2	1	0
			12.4	62.9	21.3	2.2	1.1	0
	非該当層	363	69	214	74	3	2	1
			19.0	59.0	20.4	0.8	0.6	0.3
中学2年生	全体	401	110	228	53	2	4	4
			27.4	56.9	13.2	0.5	1.0	1.0
	生活困難層	19	8	9	2	0	0	0
			42.1	47.4	10.5	0	0	0
小学5年生	中間層	140	26	79	32	2	0	1
			18.6	56.4	22.9	1.4	0	0.7
	非該当層	668	152	412	89	8	4	3
			22.8	61.7	13.3	1.2	0.6	0.4
中学2年生	全体	401	110	228	53	2	4	4
			27.4	56.9	13.2	0.5	1.0	1.0
	生活困難層	19	8	9	2	0	0	0
			42.1	47.4	10.5	0	0	0
小学5年生	中間層	67	14	45	4	1	2	1
			20.9	67.2	6.0	1.5	3.0	1.5
	非該当層	315	88	174	47	1	2	3
			27.9	55.2	14.9	0.3	0.6	1.0

前回調査

		上段(人) 下段(%)						
		調査数	必ず磨いている	たいてい磨いている	ほとんど磨いていない	まったく磨いていない	わからない	無回答
小学5年生	全体	856	186	521	131	10	4	4
			21.7	60.9	15.3	1.2	0.5	0.5
	生活困難層	48	8	30	10	0	0	0
			16.7	62.5	20.8	0	0	0
中学2年生	全体	401	110	228	53	2	4	4
			27.4	56.9	13.2	0.5	1.0	1.0
	生活困難層	19	8	9	2	0	0	0
			42.1	47.4	10.5	0	0	0
小学5年生	中間層	140	26	79	32	2	0	1
			18.6	56.4	22.9	1.4	0	0.7
	非該当層	668	152	412	89	8	4	3
			22.8	61.7	13.3	1.2	0.6	0.4
中学2年生	全体	401	110	228	53	2	4	4
			27.4	56.9	13.2	0.5	1.0	1.0
	生活困難層	19	8	9	2	0	0	0
			42.1	47.4	10.5	0	0	0
小学5年生	中間層	67	14	45	4	1	2	1
			20.9	67.2	6.0	1.5	3.0	1.5
	非該当層	315	88	174	47	1	2	3
			27.9	55.2	14.9	0.3	0.6	1.0

10. 落ち着いて勉強できる環境の有無

【生活実態調査⑬:落ち着いて勉強できる環境の有無】

今回調査

前回調査

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	ある	ない	無回答
小学5年生	全体	491	436	55	0
			88.8	11.2	0
	生活困難層	24	18	6	0
			75.0	25.0	0
中間層	89	76	13	0	
		85.4	14.6	0	
非該当層	363	329	34	0	
		90.6	9.4	0	
中学2年生	全体	244	225	18	1
			92.2	7.4	0.4
	生活困難層	13	10	2	1
			76.9	15.4	7.7
中間層	38	34	4	0	
		89.5	10.5	0	
非該当層	186	174	12	0	
		93.5	6.5	0	

		上段(人) 下段(%)			
		調査数	ある	ない	無回答
小学5年生	全体	856	752	94	10
			87.9	11.0	1.2
	生活困難層	48	34	14	0
			70.8	29.2	0
中間層	140	110	28	2	
		78.6	20.0	1.4	
非該当層	668	608	52	8	
		91.0	7.8	1.2	
中学2年生	全体	401	360	35	6
			89.8	8.7	1.5
	生活困難層	19	16	3	0
			84.2	15.8	0
中間層	67	59	8	0	
		88.1	11.9	0	
非該当層	315	285	24	6	
		90.5	7.6	1.9	

【生活実態調査・こども回答・放課後の過ごし方③:帰宅後 勉強や宿題をする】

今回調査

前回調査

		調査数	まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	上段(人)	下段(%)
小学5年生	全体	354	7	165	116	46	18	2		
			2.0	46.6	32.8	13.0	5.1	0.6		
	生活困難層	14	0	6	5	2	1	0		
			0	42.9	35.7	14.3	7.1	0		
中学2年生	全体	62	2	27	23	8	2	0		
			3.2	43.5	37.1	12.9	3.2	0		
	生活困難層	246	5	115	77	33	14	2		
			2.0	46.7	31.3	13.4	5.7	0.8		
小学5年生	全体	535	96	216	133	74	15	1		
			17.9	40.4	24.9	13.8	2.8	0.2		
	生活困難層	9	2	5	0	1	1	0		
			22.2	55.6	0	11.1	11.1	0		
中学2年生	全体	29	7	9	10	3	0	0		
			24.1	31.0	34.5	10.3	0	0		
	生活困難層	144	17	58	45	19	4	1		
			11.8	40.3	31.3	13.2	2.8	0.7		

		調査数	まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	上段(人)	下段(%)
小学5年生	全体	868	12	398	350	55	42	11		
			1.4	45.9	40.3	6.3	4.8	1.3		
	生活困難層									
中学2年生	全体	475	38	192	180	50	13	2		
			8.0	40.4	37.9	10.5	2.7	0.4		
	生活困難層									
小学5年生	全体									
	生活困難層									
	中間層									
	非該当層									
中学2年生	全体									
	生活困難層									
	中間層									
	非該当層									

【生活実態調査・こども回答・放課後の過ごし方④:帰宅後 テレビやDVDを見る】

今回調査

前回調査

		調査数	まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	上段(人)	下段(%)
小学5年生	全体	354	22	81	89	98	63	1		
			6.2	22.9	25.1	27.7	17.8	0.3		
	生活困難層	14	1	3	0	6	4	0		
			7.1	21.4	0	42.9	28.6	0		
中学2年生	全体	62	2	11	15	17	17	0		
			3.2	17.7	24.2	27.4	27.4	0		
	生活困難層	246	17	61	65	64	38	1		
			6.9	24.8	26.4	26.0	15.4	0.4		
小学5年生	全体	535	74	156	124	115	65	1		
			13.8	29.2	23.2	21.5	12.1	0.2		
	生活困難層	9	2	1	2	2	1	1		
			22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1		
中学2年生	全体	29	1	10	8	4	6	0		
			3.4	34.5	27.6	13.8	20.7	0		
	生活困難層	144	19	37	36	36	16	0		
			13.2	25.7	25.0	25.0	11.1	0		

		調査数	まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	上段(人)	下段(%)
小学5年生	全体	868	35	240	290	144	147	12		
			4.0	27.6	33.4	16.6	16.9	1.4		
	生活困難層									
中学2年生	全体	475	29	131	170	80	59	6		
			6.1	27.6	35.8	16.8	12.4	1.3		
	生活困難層									
小学5年生	全体									
	生活困難層									
	中間層									
	非該当層									
中学2年生	全体									
	生活困難層									
	中間層									
	非該当層									

【生活実態調査・こども回答・放課後の過ごし方⑤:帰宅後 パソコン・スマートフォンなどでインターネットやゲームをする】

今回調査

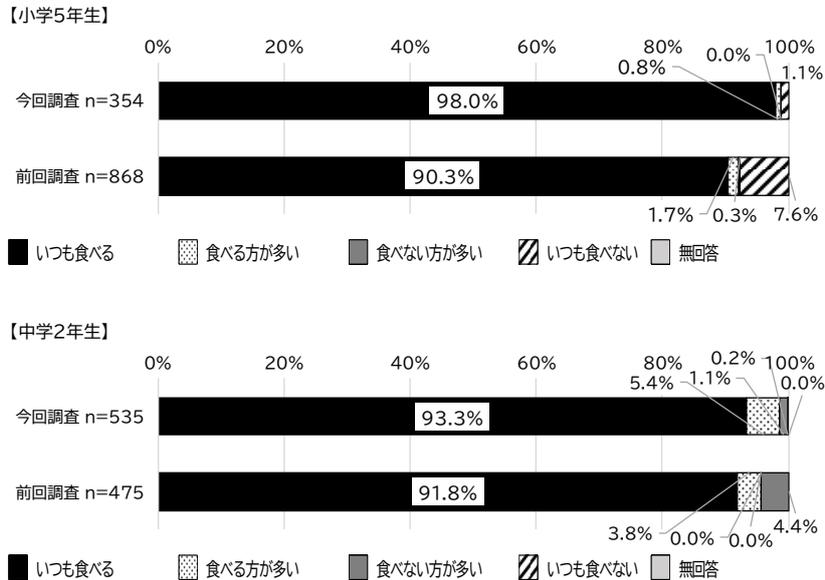
前回調査

	調査数	上段(人) 下段(%)						
		まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	
小学5年生	全体	354	43	106	78	70	55	2
			12.1	29.9	22.0	19.8	15.5	0.6
	生活困難層	14	1	1	3	4	5	0
			7.1	7.1	21.4	28.6	35.7	0
中学2年生	全体	535	25	66	109	155	180	0
			4.7	12.3	20.4	29.0	33.6	0
	生活困難層	9	0	1	0	4	4	0
			0	11.1	0	44.4	44.4	0
小学5年生	中間層	62	4	15	16	13	14	0
			6.5	24.2	25.8	21.0	22.6	0
	非該当層	246	36	80	53	44	31	2
			14.6	32.5	21.5	17.9	12.6	0.8
中学2年生	全体	475	48	103	141	100	82	1
			10.1	21.7	29.7	21.1	17.3	0.2
	生活困難層	9	0	1	0	4	4	0
			0	11.1	0	44.4	44.4	0
小学5年生	中間層	29	0	3	5	9	12	0
			0	10.3	17.2	31.0	41.4	0
	非該当層	144	5	20	35	42	42	0
			3.5	13.9	24.3	29.2	29.2	0

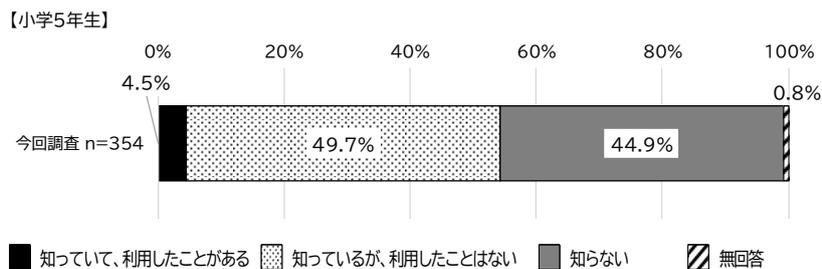
	調査数	上段(人) 下段(%)						
		まったくしない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3時間以上	無回答	
小学5年生	全体	868	172	283	204	86	109	14
			19.8	32.6	23.5	9.9	12.6	1.6
	生活困難層							
	中間層							
中学2年生	全体	475	48	103	141	100	82	1
			10.1	21.7	29.7	21.1	17.3	0.2
	生活困難層							
	中間層							
小学5年生	非該当層							
	全体	475	48	103	141	100	82	1
			10.1	21.7	29.7	21.1	17.3	0.2
中学2年生	生活困難層							
	中間層							
	非該当層							

12. こどもの回答から見たこどもの現状 ~こどもの生活と将来に関する意識~

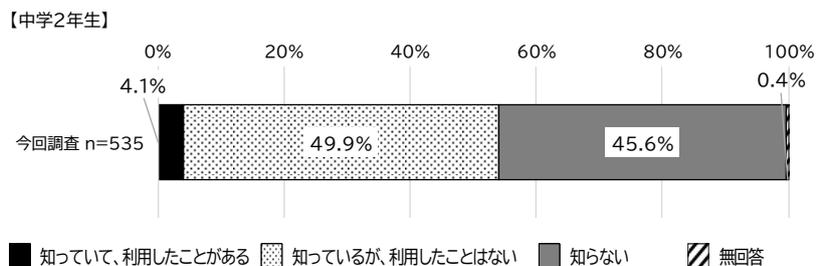
【生活実態調査・こども回答・こどもの生活と将来①:夕食摂取の有無】



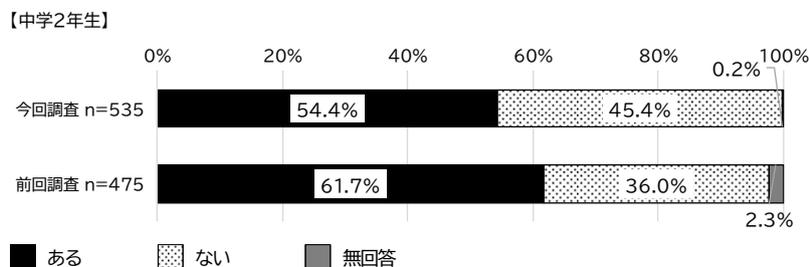
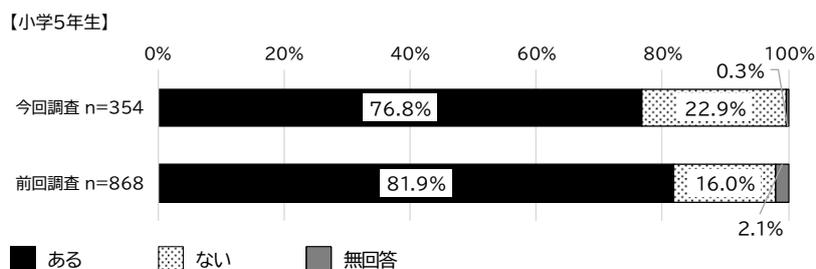
【生活実態調査・こども回答・こどもの生活と将来②:子ども食堂の認知度・利用有無】



※前回調査では、実施なし



【生活実態調査・こども回答・こどもの生活と将来③:将来の夢の有無】



【関係団体】

■こどもの貧困に関する支援団体

項目	内容	
①団体の活動について	民生委員	・非常勤の特別職地方公務員で、地域住民の「身近な相談相手」であると同時に、「支援へのつなぎ役」。
	学習支援団体	・学習支援を通じて、子どもやその家庭が抱える課題について相談に応じている。
	子ども食堂	・地域の子どもたちや子育て世帯へのお弁当配付、イベント食材配付、会食機会の提供等。
②貧困家庭のこどもの状況、課題	民生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と民間団体、社会福祉協議会の枠を超えた連携が必要である。 ・お金の使い方がおかしい子どもや、食事ではなくお菓子でお腹を満たしているような子どももいる。 ・コミュニケーション能力が乏しいと感じることもある。
	学習支援団体	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯や外国人世帯が多く、世代にわたって生活保護を受給しているケースも多い。 ・就労していないか、非正規雇用であることが多く、また精神的不調により家庭にいる時間が長い。 ・排他的で他人を信用せず、課題を自ら抱え込んでしまうような保護者も多い。 ・保護者が多忙だったり、生活能力が欠如したりで、ヤングケアラー状態になっている子どももいる。 ・自己肯定感が低く、学力も低いことが多く、成功モデルが身近にいないことも課題である。 ・食糧支援を契機に世帯主・子どもとの関係づくりを行い、学習教室への参加に結び付ける。
	子ども食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親もいるが、お金に困っている様子はなく、どちらかというと共働き世帯の方が税金でお金が残らず苦しそう。経験の貧困も見受けられる。 ・ひとり親世帯や生活保護世帯には、現金給付ではなく、現物支給が必要だと感じる。(現金だと保護者の私腹を肥やす家庭もある) ・家庭の問題や課題があるような子はほとんど見受けられない。 ・子どもたちだけで食べにきた子どもたちとは、積極的に親や生活の話を取り取るようにしている。 ・いつでも食事や食材の提供ができるようにしている。 ・家庭内のトラブル等への相談・対応も行っている。

③貧困家庭のこども に対して今後必要だ と思われる支援等 (行政の支援、その 他の支援含めて)	民生委員	・長期休暇時に食事や居場所支援、またわかりやすい性教育。
	こども食堂	・全地域のこどもたちに3か月に1回は会えるような、食材や弁当を届けられる制度。 ・貧困家庭に対しては現物支給が必要だと思う。
④団体の活動で支 援できていない部 分、活動範囲外で支 援を必要としている と思われる内容	こども食堂	・学習支援や居場所の提供、本人の意思で来れる避難場所の提供。
⑤団体の活動にお ける課題	こども食堂	・対応できるメンバーが限られており、資金面も厳しいのが現状である。 ・メンバーに子育て世代が多いので、夕方以降の体制が手薄になりやすい。 ・拠点(場所)がないので、物品の荷受け場所や保管場所がない。
⑥今後について	民生委員	・個人情報取扱いとの折り合いが難しい。いろいろな立場の人と情報共有をしていきたい。こどもを支援している団体や行政、保健師等と話し合う機会がほしい。
	こども食堂	・活動場所を確保し、定期的な食料品配付のほかに、学習支援等でこどもたちに長期的な支援を行いたい。 ・月に一度の開催と、児童館への食事の提供を継続的に行いたい。

6 ヒアリング調査

こども・子育て支援やこどもの貧困に関する本市の状況を詳しく把握するために、こども・若者や子育て当事者にヒアリング調査を実施しました。

◆調査の種類・調査方法

①市内の小学生、中学生、高校生、大学生

種類	調査対象	実施日	対象数	調査方法
小学生	ねぎしだい児童館利用者	令和5年12月22日(金)	19人	グループ ヒアリング
	みぞめま児童館利用者	令和6年1月9日(火)	21人	
	ひざおり児童館利用者	令和6年1月10日(水)	12人	
	都市公園利用者 (島の上公園、あけぼの公園)	令和6年1月30日(火)	4人	
	溝沼放課後児童クラブ利用者	令和6年4月22日(月)	9人	
中学生 ・ 高校生	ほんちよう児童館利用者	令和6年1月13日(土)	22人	
	朝霞市立朝霞第四中学校生徒	令和6年4月25日(木)	10人	
	埼玉県立朝霞高等学校生徒	令和6年4月22日(月)	22人	
大学生	アサカシティラボ参加者	令和6年1月27日(土)	10人	紙アンケート

②児童館利用者(保護者)

種類	調査対象	実施日	対象数	調査方法
保護者	きたはら児童館利用者	令和6年1月13日(土)	6人	グループ ヒアリング
	はまさき児童館利用者		9人	

③そのほか

種類	調査対象	実施日	対象数	調査方法
多胎児保護者	多胎児サークル参加者	令和6年2月23日(金)	7人	紙アンケート
保護者	あさか子育てネットワーク イベント参加者	令和6年2月20日(火)	4人	個別ヒアリング

①市内の小学生、中学生、高校生、大学生

◇主な調査項目

項目	内容
施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館・放課後児童クラブの好きなおとこ、気に入っているところ ・通うようになったきっかけ ・もっと良くなるというところ ・「ほんちよう児童館」の利用状況・利用した/しない感想もっと良くなるというところ(中学校・高校でのヒアリングのみ)
放課後の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後過ごしている場所 ・放課後過ごしたい場所

朝霞市について	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもにとって生活しやすいか ・市外の友達などに自慢したいところ ・もっと良くなるというところ ・ずっと住んでいきたいか
相談窓口について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口を知っているか ・相談しやすいか
地域活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加したことがあるか ・地域活動に参加してみたいと思うか ・地域活動に参加できない理由や必要なこと
将来について	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを考えることはあるか、そのきっかけは何か ・将来不安なことや知りたいことはあるか ・朝霞市で子育てをしたいと考えるか
普段の生活について	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていること、もっと良くなるというところ

◇主な意見

項目		内容
施設について	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ●児童館の好きなおところ ・いろいろな遊びができる。 ・通いやすい、利用しやすい。友達との待ち合わせ場所にも使っている。 ●児童館のもっと良くなるというところ ・ボール遊びができるような場所や音楽スタジオなどがほしい。 ・高学年は携帯を触ってもいいことにしてほしい。 ●放課後児童クラブの好きなおところ・気に入っているところ ・おもちゃや本がたくさんある、新しい雑誌が読める。 ・いろいろな遊びができる、外で遊べる、お誕生日会がある。 ・夏休みなどの長期休みには映画が観られる。 ・宿題ができる。 ●放課後児童クラブに通うようになったきっかけ ・親が働いているから。
	中高生 (児童館ヒアリング)	<ul style="list-style-type: none"> ●児童館の好きなおところ ・友達や職員と交流できる、職員が優しい。 ・お菓子や食事をもらえることがあるのでうれしい。 ●もっと良くなるというところ ・今の児童館が好きなので特に変わってほしいところはない。 ・20時まで開館している児童館を増やしてほしい。 ・小学生が使える部屋と、中高生が使える部屋を分けた方がお互い安心。
	中高生 (学校ヒアリング)	<ul style="list-style-type: none"> ●利用状況 ・ほとんどの中学生・高校生が知っており、中学生は利用したことがある生徒が過半数だったが、高校生はほとんど利用したことがなかった。

		<ul style="list-style-type: none"> ●感想 ・中学生専用地下室で楽器が演奏できるのが良い。 ・冷房が効いていて涼しい、きれい。 ・漫画がたくさんあって良い。 ●もっと良くなるというところ ・遊戯室をもっと使いやすくしてほしい(ボール遊びできる場所が足りない、卓球の予約を柔軟にしてほしい)。 ・多目的スペースが1日使えるようにしてほしい。 ●利用しない理由 ・知らなかった。 ・人に見られて勉強するのが苦手だから。 ●どのような施設だったら利用したいか ・どのような施設かがわからないのでパンフレットがほしい。 ・個室の自習スペースがほしい。 ・ゲーム大会が開催されている。 ・Wi-Fi環境が整っている。
放課後の居場所	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後過ごしている場所 ・家 ・習い事 ・児童館 ・学校 ●あると良いところ ・水族館
	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●過ごしている場所 ・ほとんどが部活動または生徒会活動だった。 ●あると良い場所 ・ショッピングモール ・勉強できる場所、集中できる自習スペース ・ボール遊びができる公園
朝霞市について	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもにとって生活しやすいか ・朝霞市は生活しやすい。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・野菜がおいしい、自然が多い。 ・東京に近くて、遊びやすい。買い物がしやすい。 ・治安が良い。 ●もっと良くなるというところ ・観光スポットやボール遊びができる場所がほしい。 ・道路を整備してほしい。 ・公園の遊具や木を増やしてほしい。

		<ul style="list-style-type: none"> ●ずっと住んでいたい ・ずっと住みたい(多数)。 ・東京に行きたい、と回答している児童もいた
	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもにとって生活しやすいか ・電車の利便性は良いが、駅前が遊ぶところが少ない。 ・静かで住みやすい。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・電車が多く、アクセスが良い。 ・雰囲気明るい、自然が多い。 ●もっと良くなるというところ ・街灯がほしい、夜の道が危ない。歩道が狭い。 ・ボールで遊べる施設が少ない。 ・中学生以降遊べる場所が少ない。 ・囲碁や将棋等をやりたい人が集える場所が増えると良い。 ・イベントが少ない。 ●ずっと住んでいたい ・大人になったら別のところに住みたい。 ・住むのは朝霞市でもいいが、高校や就職先は朝霞市以外を考えている。
	大学生	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもにとって生活しやすいか ・生活しやすい(多数)。 ・都市に出やすい、交通の便が良い。 ・田舎と都会のちょうど良いバランス。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・彩夏祭(多数) ・治安が良い、都心に近く交通の便が良い。 ●もっと良くなるというところ ・自慢できるところがほしい。 ・医療費を高校まで無償化してほしい、妊娠出産への支援をしてほしい。 ●ずっと住んでいたい ・思う、結婚を考えた時に子育てしやすい環境だから。 ・思わない、キャリアを考えた時に海外へ挑戦したいと思う。
相談	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●相談窓口を知っているか ・ほとんどが知っていた(学校で配られる小さい冊子で知った)。
地域活動について	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動に参加したことがあるか・参加してみたいと思うか ・参加したことがある人が半数程度、参加したことがない人も参加してみたいと回答した人が大多数だった。 ・学校で募集があったり、自発的に参加したりしていた。 ●地域活動に参加できない理由や必要なこと ・清掃以外のボランティアを知らない(清掃は衛生的に苦手)。 ・ボランティアは大人が多く、こどもが参加できるイメージがない。

将来について	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●将来のことを考えることはあるか、そのきっかけは何か ・卒業文集等で将来の夢を書いた時。 ・総合学習の時間(職業体験や、進路について考える授業等)。 ・両親と話した時、兄姉の様子を見た時。 ・ニュース等を見て。 ●将来不安なことや知りたいことはあるか ・将来日本がどうなるか不安。 ・勉強や将来の職業について相談できる人がいない(実際にその進路をたどった人がいない)。 ・受験をした人(高校生)の話が聞きたい。 ●朝霞市で子育てをしたいと考えるか ・「したい」とはっきり回答したのは1人だった。
	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ●困っていること、もっと良くなるというところ ・遊べるところをもっと増やしてほしい。 ・市内のほかの学校と交流したい。
普段の生活について	中高生	<ul style="list-style-type: none"> ●困っていること、もっと良くなるというところ ・体育館と公園の間のような、気軽に運動できる場所がほしい。 ・朝霞市民が朝霞をもっと好きになるきっかけを増やしたい。 ・坂や道の整備を進めてほしい。

②児童館利用者(保護者)

◇主な調査項目

項目	内容
施設について	・利用頻度、来館目的
遊ぶ場所	・利用する場所、気に入っている点 ・希望する場所等
市内の子育て環境 子育て支援について	・朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・改善を希望する点 ・市内で子育てをしていきたいか ・困っていることや感じていること、希望など
相談機関・窓口等について	・相談機関・窓口があることを知っているか ・利用しやすくなるために必要なこと

◇主な意見

項目	内容
施設について	<ul style="list-style-type: none"> ●利用頻度、来館目的 ・利用頻度は毎日のように利用している人や月に数回等、様々であるが、定期利用している人が多い。 ・目的は、こどもの遊び場やイベント参加者、ママ友の情報交換等。

遊ぶ場所	<ul style="list-style-type: none"> ●利用する場所 ・公園、ショッピングセンター、(おもちゃ)図書館等 ●気に入っている点 ・いろいろな遊びができる(サッカー、凧揚げ、砂場遊び等)。 ・職員がやさしい。 ●希望する場所等 ・おもちゃや本を増やしてほしい。 ・スペースや施設数をもっと増やしてほしい。 ・トイレをきれいにしてほしい、駐車場を充実させてほしい。
市内の子育て環境 子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ●朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・比較的子育てしやすい(多数)。 ・同世代のママが多く、子育て世帯が多く引っ越している。 ●改善を希望する点 ・保育園や学童保育に入れない(入れるか不安)。 ・歩道が狭い、車を運転していて危ないと感じる。 ・仕事が休みの日も子どもを預けられるようにしてほしい。 ●市内で子育てをしていきたいか ・ずっと朝霞市で子育てをしたいと思っている(多数)。 ●困っていることや感じていること、希望など ・朝霞市は転入者が多いので、転入者でもわかるように子育て関連の情報を取りまとめてほしい。(取りまとめた情報には)子育て経験者の声や視点も反映させてほしい。サービスや施設一覧がほしい。 ・所得制限でサービスが受けられない、子育て支援サービスの対象にしてほしい。
相談機関・窓口等について	<ul style="list-style-type: none"> ●相談機関・窓口があることを知っているか ・利用したことがない(多数)。 ・保健センターや支援センター等で発達成長に関する相談をしたことがある。 ●利用しやすくなるために必要なこと ・今回のようなヒアリング調査を定期実施してほしい。 ・LINE やチャット等であれば相談しやすそう。 ・年齢に合わせた相談窓口があるのかを知りたい。

③そのほか

◇主な調査項目

項目	内容
サークル活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・参加頻度、参加目的
遊ぶ場所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する場所、気に入っている点 ・希望する場所等
市内の子育て環境 子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・改善を希望する点

相談機関・窓口等について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談機関・窓口があることを知っているか ・利用しやすくなるために必要なこと
--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

◇主な意見

項目	内容
サークル活動について	<ul style="list-style-type: none"> ●参加頻度 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、2～3か月に1回等、定期的に参加している人が多い。 ●参加目的 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの遊び場や保護者同士の交流などが多い。
遊ぶ場所	<ul style="list-style-type: none"> ●利用する場所 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館や公園 ●気に入っている点 <ul style="list-style-type: none"> ・近いところ、のびのび動けるところ。 ・イベントがたくさんあるところ。 ・おもちゃや本がたくさんあるところ。 ●希望する場所等 <ul style="list-style-type: none"> ・遊園地やこども動物園等、こども向けの施設。 ・駅前におむつ替えや授乳できるスペースがほしい。
市内の子育て環境 子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ●朝霞市は子育てしやすい所か <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいという意見と、どちらとも言えないという意見が半々。 ●特に良いところ <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多い。 ・子育て支援センターや児童館等の施設数が多い。 ●改善を希望する点 <ul style="list-style-type: none"> ・金銭的な補助。 ・子育て施設や支援をもう少し手厚くしてほしい。 ・一時預かりや病児の利用をしやすくしてほしい。
相談機関・窓口等について	<ul style="list-style-type: none"> ●相談機関・窓口があることを知っているか <ul style="list-style-type: none"> ・知っている人が多い。 ●利用しやすくなるために必要なこと <ul style="list-style-type: none"> ・もっと情報発信があると利用しやすい。 ・サービスについてもっと知りたい。

7 参考とした調査

本計画を策定するに当たり実施した調査のほか、これまでに実施した3つの調査の結果も参考としました。

①朝霞市こどもの日常生活に関するアンケート調査(ヤングケアラー実態調査)での調査結果

本調査は、本来大人が担うと想定される家事や家族のケアなどを日常的に行っているこども「ヤングケアラー」の状況を把握し、保護者やこどもだけで困難を抱え込まずにすむよう、本市における支援のあり方を検討するために実施したものです。

◆調査の種類・調査方法

調査対象	対象数	調査方法
小学5年生	1,273人	学校配付 WEB回収
小学6年生	1,227人	
中学1年生	1,133人	
中学2年生	1,088人	
中学3年生	1,104人	

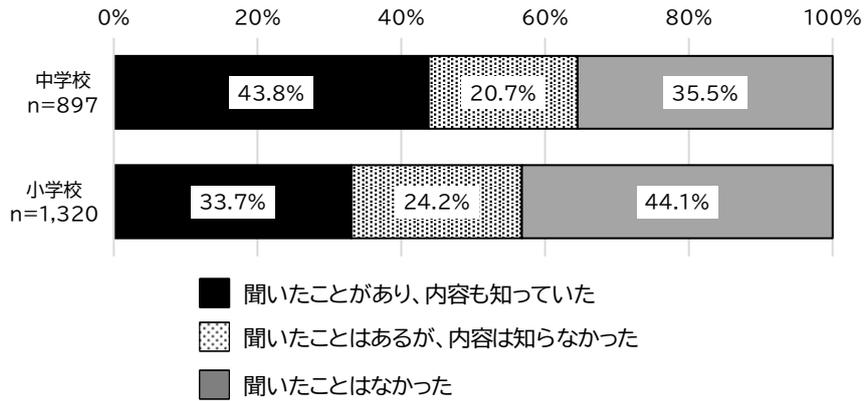
◆回収期間

令和5年11月6日(月)～11月30日(木)

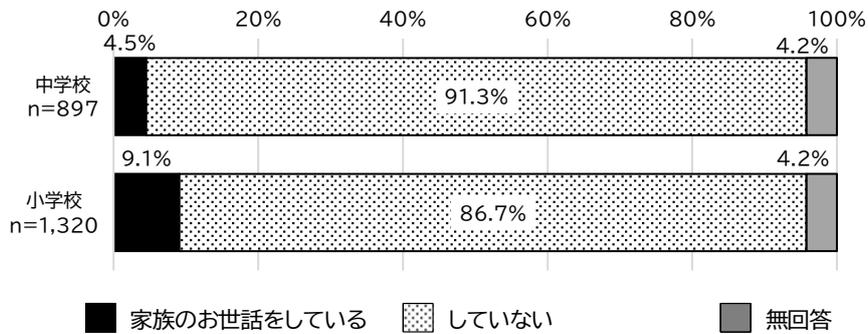
◆回答状況

調査対象	配付数	有効回収数	有効回収率
小学5年生	1,273人	699件	54.9%
小学6年生	1,227人	621件	50.6%
中学1年生	1,133人	271件	23.9%
中学2年生	1,088人	270件	24.8%
中学3年生	1,104人	356件	32.2%

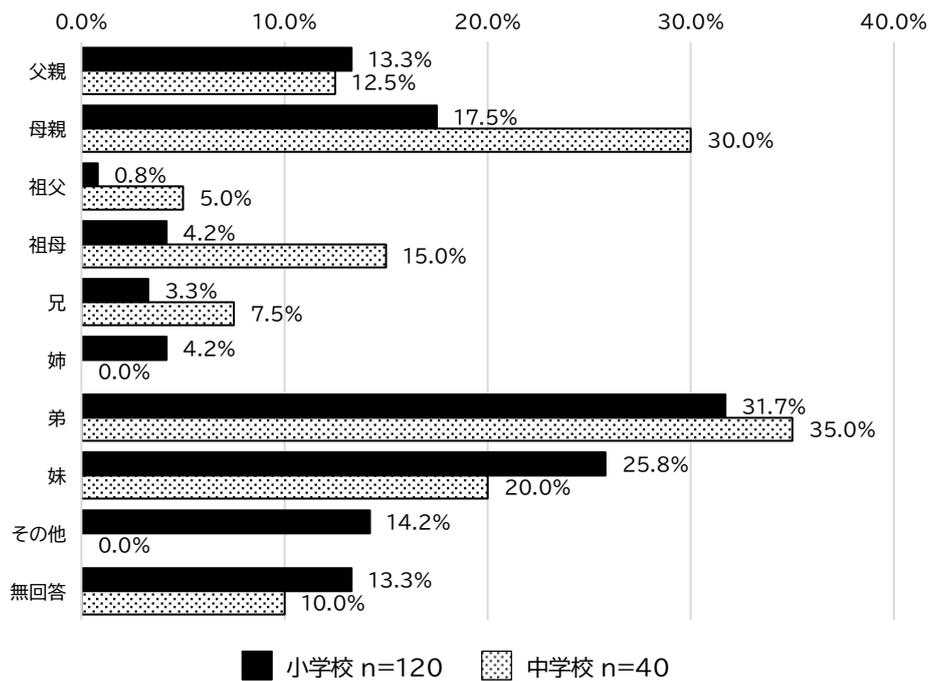
問1 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を、このアンケート調査をする前に聞いたことがありましたか。



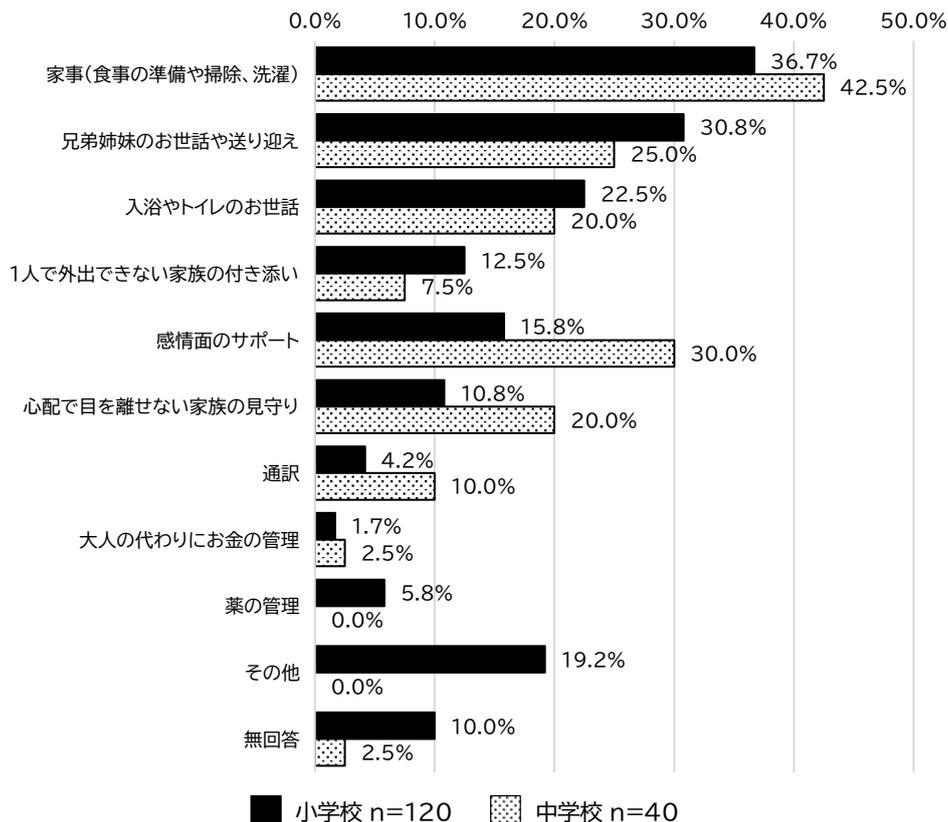
問2 家族のなかに、あなたがお世話をしている人はいますか。



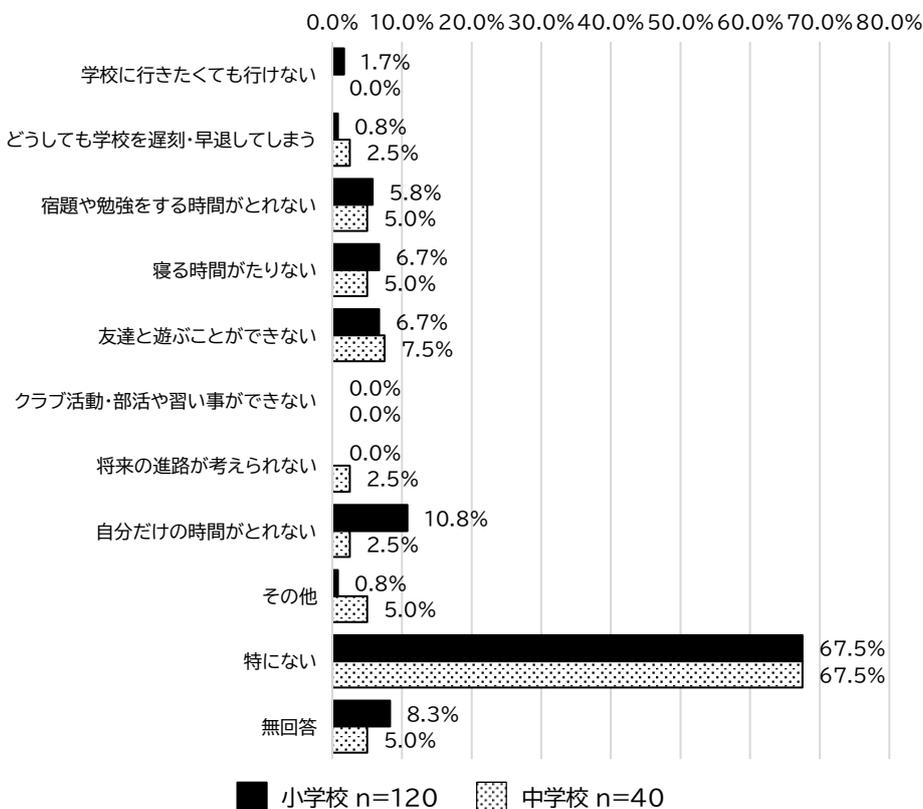
問3 あなたは誰のお世話をしていますか。(複数回答有)



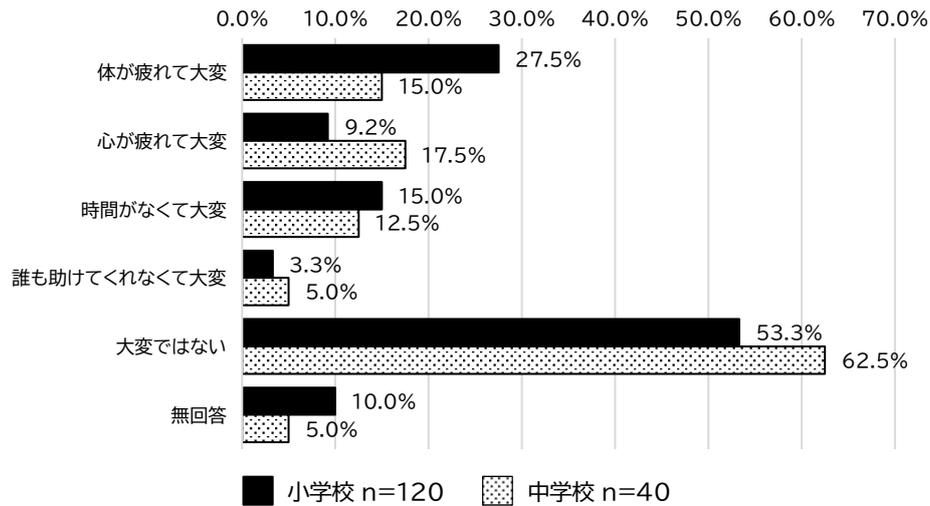
問4 あなたが家族のお世話をしている内容を教えてください。(複数回答有)



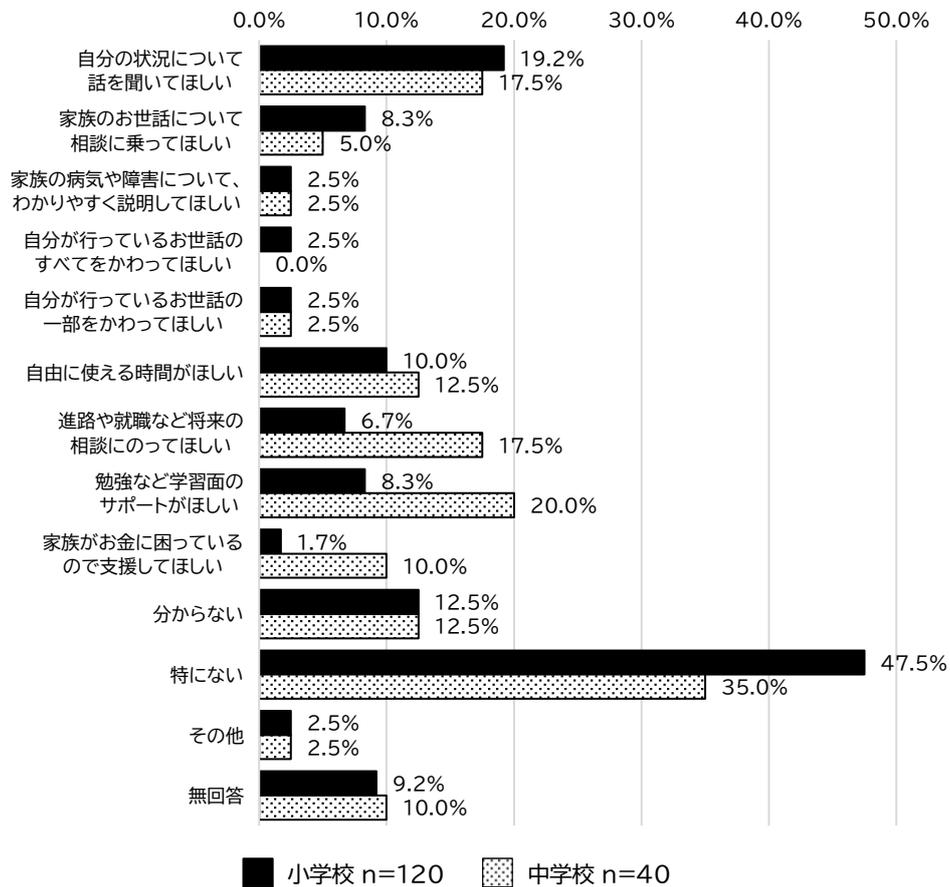
問5 家族のお世話をしているために、あなたがやりたくてもできないことはありますか。(複数回答有)



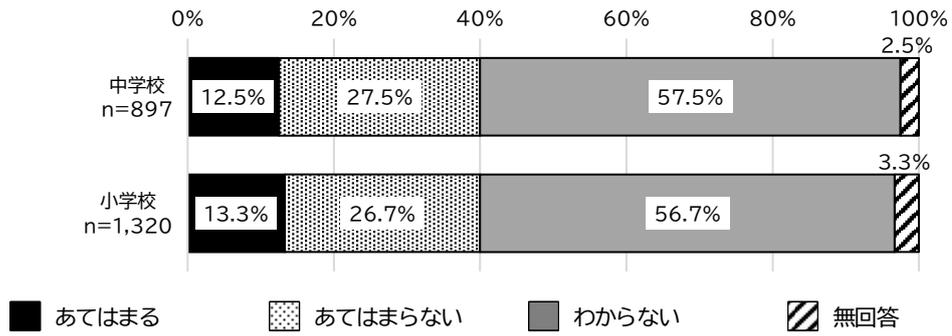
問6 あなたは家族をお世話することに、大変さを感じていますか。(複数回答有)



問7 学校の先生や周りの大人に助けてほしいこと、あったらいいと思う支援はありますか。(複数回答有)



問8 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。



②あさか次世代エール支援金で寄せられた意見

令和4年(2022)8月から10月に実施した、19歳から24歳までを対象とした「あさか次世代エール支援金」では、申請書に「皆さまが考える朝霞市の未来について」として、「今後朝霞市に求めるもの」や「朝霞市がこんなまちになったらいいなと思うこと」などを記載していただきました。

◆調査方法・回答状況

調査対象	対象数	調査方法	配付数	有効回収数	有効回収率
朝霞市在住の19歳～24歳	9,541人	郵送配付 郵送回収	9,541人	6,298人	66.0%

◆寄せられた意見

ジャンル	数	割合	主な意見
商業・商業施設	662	10.5%	イオンやららぼーとのような大型施設を作り、遠くに行かずに買い物がしたい
その他の意見	560	8.9%	活気がある街、みんなが幸せに暮らせる街、自然の多い街
子育て	505	8.0%	こどもが遊べる場所の整備、こども向けの手当の補助の拡大
道路	502	8.0%	歩道の拡張、自転車専用道路の整備、坂への対策
観光・シティプロモーション	486	7.7%	都心への利便性など市の魅力をもっと外へ発信してほしい、「住みたい街」No.1を目指してほしい
朝霞駅・朝霞台駅	400	6.4%	朝霞駅への急行停車、朝霞台駅へのホームドア設置、朝霞台⇄北朝霞エリアの改善
政策	392	6.2%	手続のデジタル化の推進、投票率の向上、若者への支援の継続
街づくり・交通	336	5.3%	市内循環バスの増便、特定エリア(朝霞駅東口など)の開発
防災・防犯	328	5.2%	外灯設置数の増加、水害対策
地域・世代間交流	318	5.0%	交流できるスペース・機会がほしい(地元の人と転入者、高齢者とこども、外国籍)
スポーツ・生涯学習・図書館	258	4.1%	スポーツ施設の整備、自習スペースの拡大
彩夏祭	234	3.7%	彩夏祭を続けてほしい、もっと多くの人に参加してもらいたい、花火が見たい
環境	229	3.6%	ゴミのポイ捨て、街中での喫煙、自然
公園	211	3.4%	朝霞の森のような公園がほしい、ボール遊びのできる公園がほしい
満足	152	2.4%	
学校・教育	141	2.2%	学費や試験受講料への補助、義務教育中の教育の充実
黒目川	130	2.1%	土手の整備、黒目川でのイベント開催
福祉	125	2.0%	若者への家賃補助、高齢者福祉の拡充
産業振興・農業	102	1.6%	地産地消の推進、商店街の活性化、農業振興
公共施設	83	1.3%	駅前駐輪場の整備、市庁舎の建て替え
障害・バリアフリー	69	1.1%	障害者差別解消、バリアフリーの充実
働き方	37	0.6%	介護士や保育士などエッセンシャルワーカーへの支援、就職活動について
ジェンダー	33	0.5%	LGBTQやパートナーシップ制度について
特になし	5	0.1%	

③ひとり親家庭等アンケート調査結果

ひとり親家庭等の状況を把握し、本市における支援のあり方を検討するために、「ひとり親家庭等アンケート調査」を実施しました。

◆調査の種類・調査方法

調査対象	対象数	調査方法
児童扶養手当受給資格者	660人	郵送配付 窓口回収
ひとり親家庭等医療費のみの受給資格者	35人	

◆回収期間

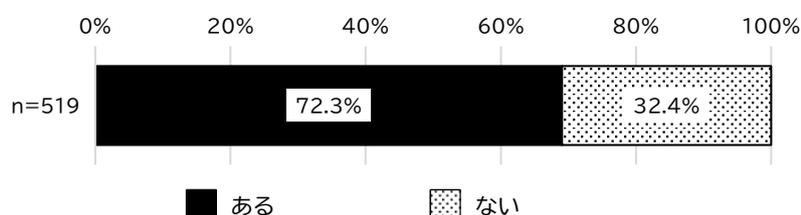
令和4年8～11月

◆回答状況

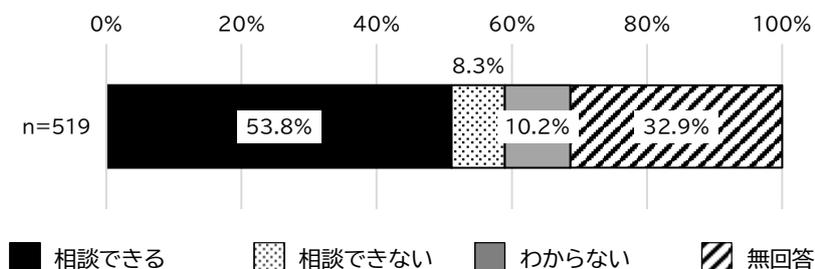
調査対象	配付数	有効回収数	有効回収率
児童扶養手当受給資格者	660人	546人	78.6%
ひとり親家庭等医療費のみの受給資格者	35人		

問1 あなたは地域の人(※)と交流(つながり)はありますか。

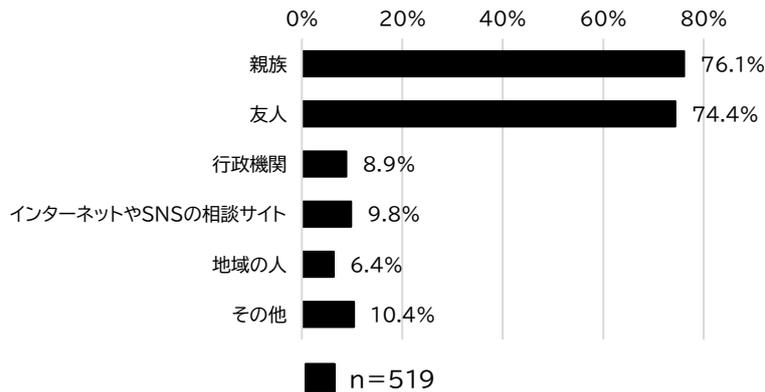
※御近所の人、子の友人の親、PTA、町内会の人など同じ地域の方



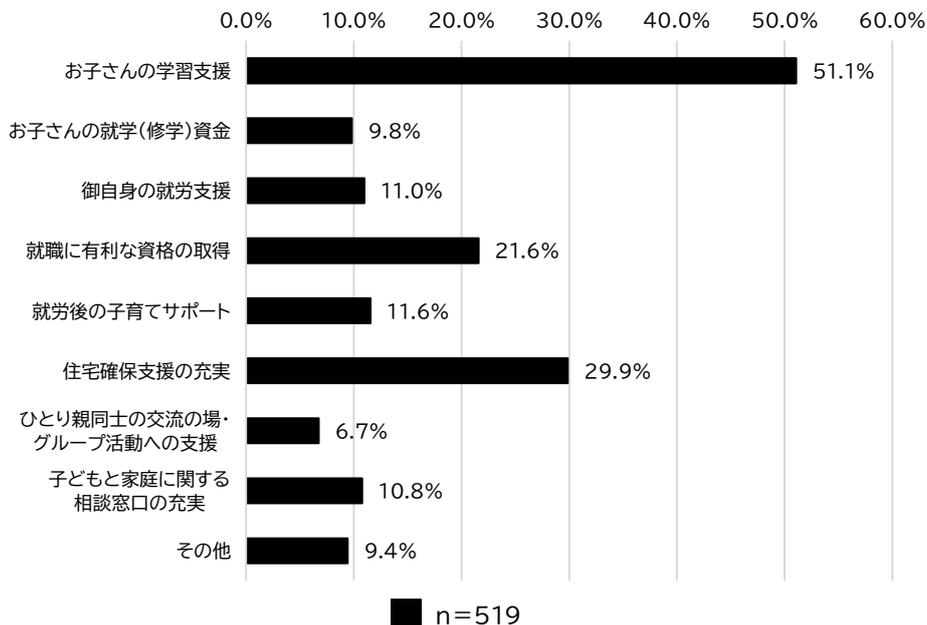
問2 問1で「ある」と回答された方に伺います。交流のある地域の人に、子育てなどの困りごとについて相談することができますか。



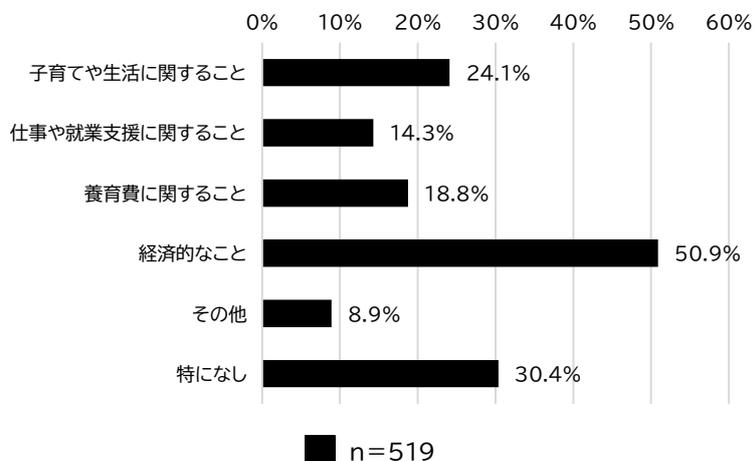
問3 子育てなどの困りごとについて、誰に相談しますか。(複数回答有)



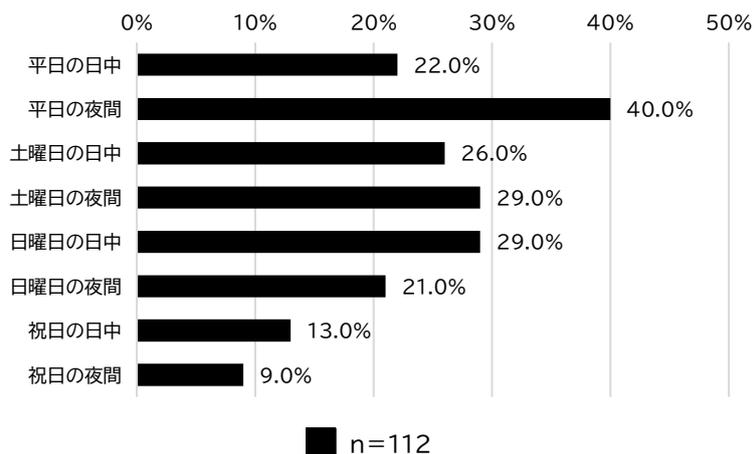
問4 今、どのような支援・サポートを必要としていますか。(複数回答有)



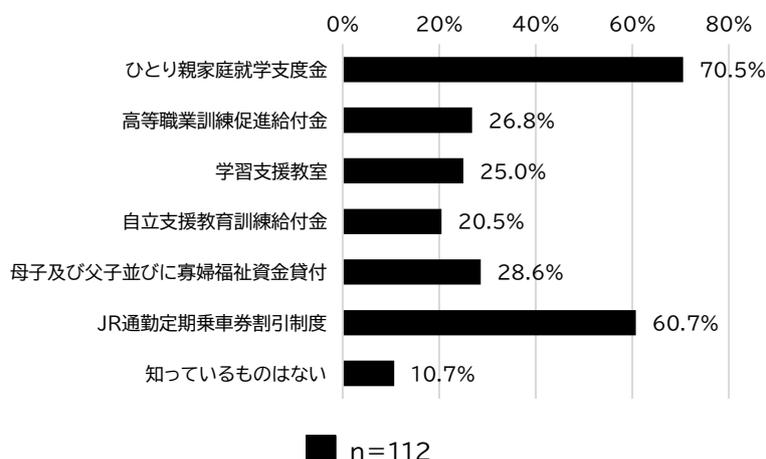
問5 現在、子育てや生活、お仕事、経済的なことでお困りのことについて、下記の内容から選択し、お困りの内容について記入してください。(複数回答有)



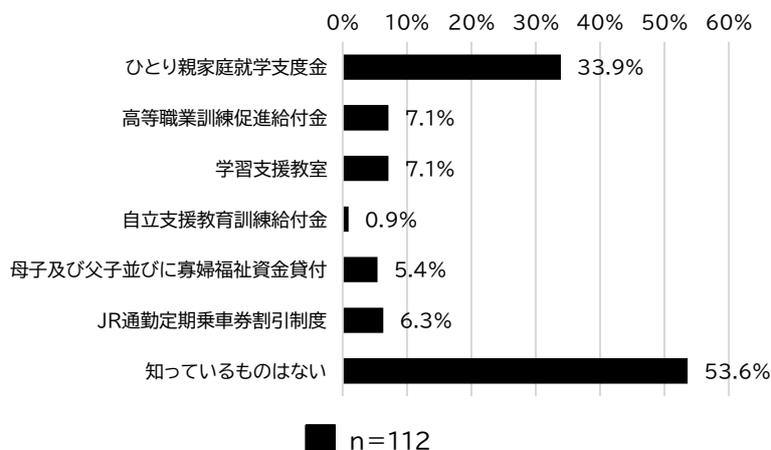
問6 お困りのことについて相談しやすい時間帯をお聞かせください。(複数回答有)



問7 下記のひとり親家庭への公的機関における制度の中で、知っているものはありますか。(複数回答有)



問8 下記の制度の中で、利用したことはありますか。(複数回答有)



8 その他参考

本計画を策定するに当たり、下記を参考としました。

①児童館利用状況

令和元年度から令和5年度までの市内児童館(6館)の利用状況等です。

(日)
(人)

施設名	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
きたはら児童館	開館日数	172	251	292	292	293
	施設利用者数	21,791	15,804	19,947	25,792	33,033
はまさき児童館	開館日数	254	249	293	293	294
	施設利用者数	28,911	10,972	12,839	14,721	20,333
みぞぬま児童館	開館日数	289	251	293	293	293
	施設利用者数	55,520	23,314	38,444	43,049	53,793
ねぎしだい児童館	開館日数	287	250	293	293	294
	施設利用者数	29,984	13,313	19,491	20,228	27,313
ひざおり児童館	開館日数	283	250	291	293	293
	施設利用者数	33,138	12,420	20,348	27,702	36,930
ほんちょう児童館	開館日数	119	251	292	293	292
	施設利用者数	22,712	19,287	32,370	41,406	56,501
計	開館日数	1,404	1,502	1,754	1,757	1,759
	施設利用者数	192,056	95,110	143,439	172,898	227,903

※きたはら児童館は令和元年10月12日から令和2年3月10日まで改修工事により休館

※ほんちょう児童館は令和元年10月30日開館

②こども食堂・フードパントリーの状況(令和6年11月末日現在)

市内のこども食堂(7か所)・フードパントリー(4か所)の状況です。(順不同)

【こども食堂】

- ・あさかニコまる食堂 ・わ・和・輪の会 ・おへそ食堂 ・ゆしゅまっふ朝霞こども食堂
- ・あさかみらいこども食堂 ・こみゆにていめしや ・みなもと食堂

【フードパントリー】

- ・フードパントリー本町 ・フードパントリー溝沼
- ・フードパントリー朝志ヶ丘 ・フードパントリー根岸台

③冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)、移動式プレーパークの状況

令和5年度実績：冒険遊び場づくり事業(プレーパーク) 参加者数 9,164人/63回

移動式プレーパーク 参加者数 1,746人/30回

9 用語集

か行

家庭保育室

保護者の労働又は傷病等の事由により保育が困難な0歳児(生後 8 週間以上)から2歳児までの乳幼児を保育者の家庭等で預かる事業。

ケースワーカー

身体的、精神的、あるいは社会的な面で何らかの課題を持ち、社会生活上に困難を有する人に対して、対象者が主体的に生活できるように支援、援助していく専門職。福祉事務所や児童相談所などの社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司をケースワーカーと呼んでいる。

子ども・子育て支援法

幼稚園・保育所などの利用料負担や養育支援などを、共通の財政支援により行う仕組みを構築し、すべての子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的とする法律。平成24(2012)年に成立。

子ども・子育て支援新制度

幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていくために平成27(2015)年4月からスタートした新制度。

子ども・子育て関連3法

- ①「子ども・子育て支援法」
- ②「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供に関する法律の一部を改正する法律」(認定子ども園法の一部改正)
- ③「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関連法律の整備等に関する法律」(関係法律の整備法:児童福祉法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律ほかの一部改正)

こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律

こどもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にあるこどもが健やかに育成される環境を整備するとともに教育の機会均等を図るため、こどもの貧困対策に関する基本理念、国等の責務、こどもの貧困対策の基本となる事項などを定め、こどもの貧困対策を総合的に推進することを目的として制定された法律。平成25(2013)年に成立。(令和6年9月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」から名称改正)

さ行

次世代育成支援対策推進法

急速な少子化の流れを変えるための総合的な取組を推進するために、平成15(2003)年に制定された法律。国による取組の方針や、地方公共団体による地域行動計画の策定、企業における従業員の仕事と子育ての両立を支援するための一般事業主行動計画の策定などが定められている。

児童虐待

児童虐待は、大きく次の4つに分類される。①身体的虐待(なぐる、けるなど)、②育児放棄/ネグレクト(適切な食事を与えない、ひどく不潔なままにするなど)、③心理的虐待(言葉によるおどし、脅迫、無視など)、④性的虐待(性的いたずらなど)。

就学前児童

小学校に入学する前の児童のこと。

小規模保育事業

比較的小規模で家庭的保育事業に近い雰囲気のもとで、きめ細かな保育を提供する事業。定員は6~19人で、職員の配置状況や施設環境によりA型、B型、C型に分かれる。

スクールカウンセラー

学校で活動するカウンセラーで、児童生徒の心の問題、悩みに対して、臨床心理の専門的知識から対処をする専門職。

スクールソーシャルワーカー

学校で活動するソーシャルワーカーで、児童生徒の問題に対し、保護者や教員、児童相談所や医療機関、行政などと協力しながら問題の解決を図る専門職。児童・生徒を取り巻く周りの環境を整える役割を担う。

ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)

厚生労働省の定義では「すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」こと。

た行

地域型保育

小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業の4事業による保育の総称。設置主体の申請に基づき、市町村長が認可する。

特別支援学級

発達障害などがあることにより、通常の学級における指導では十分な効果をあげることが困難な児童生徒に対して、きめ細かな教育を行うために、小・中学校の中に特別に設置された少人数の学級。

特別支援学校

視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱のこどもを対象とし、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を実施するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とした教育施設。

な行

認定こども園

教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さをあわせ持つ。設置主体の申請に基づき、都道府県知事が認可する。

は行

発達障害

発達障害者支援法には「自閉症、アスペルガー症候群そのほかの広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害そのほかこれに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されている。

バリアフリー

子育て家庭、障害者、高齢者などが社会生活を営む上で生活の支障となる物理的な障害や精神的障壁を取り除くための施策。

プレーパーク

「冒険遊び場」とも呼ばれ、こどもの「やりたい！」気持ちを大切に、自分の責任で自由に遊ぶこどもの遊び場。一般的にNPO法人や地域団体等によりボランティアや行政の委託で開催されている。

ペアレント・トレーニング

親がこどもの子育てに必要な知識やスキルを学ぶためのプログラム。専門家の指導の下で、実践的なトレーニングやサポートが行われ、親とこどもが共に成長できる環境づくりを促進する。

ま行

民生委員・児童委員

生活に困っていること、障害、高齢などによる生活上の悩み等について、住民の相談に応じている。民生委員は児童委員も兼ね、児童に関わる諸問題についても、主任児童委員と共に、各関係機関と連携しながら、問題の解決に努めている。朝霞市では福祉相談課が所管している。

や行

ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども。

ユニバーサルデザイン

年齢や障害の有無に関係なく、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり・ものづくり・環境づくりなどを行っていかうとする考え方。

幼児教育・保育無償化

幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスのこどもたち、市町村民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまでのこどもたちの教育・保育施設の利用料等を無料とする制度。令和元(2019)年10月より実施。

要保護児童対策地域協議会

虐待を受けているこどもや様々な問題を抱えている要保護児童若しくは、要支援児童及びその保護者等の早期発見や適切な保護等を図るために、地域の関係機関がこども等に関する情報を共有し、連携と協力により適切な対応を行うための機関。朝霞市では平成19(2007)年3月に設置。構成機関は法務局、児童相談所、保健所、警察署、消防署、市役所関係課(保育所、小・中学校等)、児童発達支援センター、社会福祉協議会(児童館、放課後児童クラブ)、医師会、歯科医師会、民生委員・児童委員、私立幼稚園協会、市指定保育室連絡協議会、人権擁護委員、民間保育園連絡協議会等。

子どもの権利条約

子どもの権利条約は大きく分けて次の4つのこどもの権利を守るように定めています。
そして、こどもにとって一番いいことを実現しようとうたっています。

1 生きる権利

防げる病気などで命をうばわれないこと。
病気やけがをしたら治療を受けられることなど。

2 育つ権利

教育を受け、休んだり遊んだりできること。
考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができることなど。

3 守られる権利

あらゆる種類の虐待(ぎゃくたい)や搾取(さくしゅ)などから守られること。
障害のあるこどもや少数民族のこどもなどはとくに守られることなど。

4 参加する権利

自由に意見をあらわしたり、集まってグループをつくったり、
自由な活動をおこなったりできることなど。

※「子どもの権利条約」は、平成元(1989)年の第44回国連総会で採択され、日本は平成6(1994)年に批准しました。